

一般社団法人バイオビジネス創出研究会 2018年度事業報告

一般社団法人バイオビジネス創出研究会

滋賀県長浜市田村町 1281-8
長浜バイオインキュベーションセンター
TEL：0749-65-8808

2018 年度 ABBC 経営・運営概況報告

会費事業は、会費を主たる収入源として運営しており、滋賀バイオ産業推進機構（SBO）と連携して、バイオビジネスにかかる情報提供、セミナー開催・マッチング事業への参加呼びかけのみならず会員個別の創業・事業化の相談・支援にも応じており、箕浦インキュベーションマネージャー（IM）が中心に担当している。

指定管理事業は、長浜バイオインキュベーションセンター（NBIC）の指定管理者としての3期目（2016年度から5年間）の3年度（通算13年）となり、入居料・指定管理料を主たる収入源として、長浜市と締結したセンターの管理に関する協定書に基づいて、入居企業の支援を柱とした管理運営にかかる多くの事業業務を箕浦 IM が中心に遂行している。

創業支援事業は、2018 年度も長浜市より新産業創出地域連携事業が委託され、併せて国の中小企業基盤整備機構からの創業支援事業者補助金も受けられたので、長浜市の政策（産業振興ビジョン・創業支援計画の具現化）と連携した創業支援事業を創業支援事業者として、商工会議所・商工会と協働で加藤地域事業化プロデューサーが中心になって行っている。また、この事業は（仮称）長浜産業創造センターのソフト事業になるものと考えている。

2018 年度の小谷城スマートインターチェンジ（SIC）関連事業は、アグリビジネス推進事業支援業務を長浜市から委託を受け、「6 次産業化拠点構想の具現化」に向け、人材育成事業、高付加価値農産物の実証栽培、体験型観光農園の実証、地域伝承野菜のブランド化推進事業などの業務を加藤地域事業化プロデューサー、箕浦 IM を中心に行っている。なお、2018 年 9 月 4 日の台風 21 号でビニールハウス 4 棟が全壊したが、再建のかかる予算措置が早急に長浜市においてなされたため当初計画通り執行できた。

その他の受託事業として、長浜アカデミックサポートチーム（NAST）事業、環境メッセへの出展事業及び滋賀県関連の SBO からの SBO サロン事業は、2018 年度も継続して委託され、箕浦 IM を中心に実施した。

会員事業報告

当会が 2006 年度より長浜市の指定管理者として運営する NBIC は今期で 3 回目 13 年目を迎えた。センター入居企業をこれまでに延べ 38 社の事業支援をおこなってきており、長浜の地に産官学連携によるバイオクラスターが小さいながらも形成され、近年では入居企業と長浜バイオ大学との共同研究なども生まれており、【滋賀の地に産学官連携によるバイオクラスターを形成】というビジョンの具現化が図れてきた。

2019 年 3 月末の会員数は、企業 20 社、個人会員 11 名、その他 58 社名の合計 89 社名である。2018 年度も総会で承認された事業計画に基づき会員事業として情報提供事業、研修会・講習会の開催事業、創業・事業化支援事業、マッチング機会創出事業等幅広く実施した。下期には第二創業・新事業アタックセミナーをはじめ様々な最新トレンド情報の発信や技術紹介を行った。

また、シェアオフィス (openjoynt) をインキュベーションセンター内に設けており、IM・地域事業化プロデューサー両名の支援を柱に展開しており、会員にも利用を呼びかけている。3 月末時点で利用者は 4 名となっている。

会員に対しては主催、共催事業、クラスターネットワーク事業、滋賀バイオ産業推進機構 (SBO) 事業、IM ネットワーク事業の案内や情報を提供している。企業会員は 2018 年度も SBO 会員に登録されており、SBO から情報提供がなされている。

企業会員、個人会員への事業支援・相談窓口としては IM および地域事業化プロデューサーが担当している。

また、地域において、第 2 創業に挑戦する企業を育てるために 300 年経営塾が代表・顧問理事の主宰で 2 ヶ月に一度開催されており、NBIC の PR を兼ね、引き続き入会し事務局を受け持っている。さらに、2018 年度から藤田義嗣副代表理事が会長を務められ、若林浩文理事が副会長を務められている『デジタルイノベーション研究会』の事務局も受け持たせていただき、AI やビッグデータ、IoT といった今後のキーテクノロジーとなるテーマを取り上げ、セミナーや勉強会を開催した。

バイオビジネス創出研究会 2018年度 会員数推移

種別	期首	増	減	2019年3月末現在
企業	19	1	0	20
個人	12	0	1	11
アカデミック	27	0	0	27
学生	0	0	0	0
賛助	20	0	1	19
BI特別	10	2	0	12
合計	88	3	2	89

指定管理業務報告

◆2018 年度入居状況

2018 年度の入居状況は 4 月当初は 17 室中 16 室入居（1 室はシェアオフィス）からスタートした。9 月末までに株式会社明豊建設 1 社が卒業され、10 月から株式会社宝樹が新しく入居された。2018 年度の採算分岐点は 14 室とみていたが、通年で 15 室と採算分岐点を上回る形で推移することが出来た。シェアオフィスについては、3 月末時点で 4 名の利用となった。研究室は 1 室の空き状況であり、次の新たな入居勧誘を積極的に行っている。

◆センター運営事業

指定管理者としてセンター運営事業の目的は、入居企業や地域企業に対するバイオ関連分野を主とした創業・事業化支援による地域産業の活性化と雇用の創出にあり、以下の事業を行っている。

センター運営事業の柱である入居企業、相談に来られる地域企業への支援は IM と地域事業化プロデューサーが担当している。入居企業の課題は IM が把握しており要望に応じて対処している。地域企業に対する第 2 創業、新事業化支援については、企業からの相談の他に、先進事例のセミナー開催や、勉強会の開催等を行いながらアプローチをしてきた。

シェアオフィス（openjoynt）については、メインステージ（次期入居企業候補）及び市内に新たな企業を輩出することを目指し、空き室を利用し、2018 年度も引き続き設置した。

◆センター管理業務

長浜市と締結した協定書の仕様書に準拠して施設の維持管理業務や入居料の集金などの経理業務を日常行っている。加えて入居者懇談会の開催、長浜サイエンスパーク（長浜バイオ大学、進出企業 6 社、ABBC）運営協議会事務局などの業務に箕浦 IM（OM 兼務）、2 名の職員（OM 補佐）が対応している。

◆センター運営体制

代表理事、顧問理事、専務理事（事務局長兼務）、相談役、IM(OM 兼務)および地域事業化プロデューサー、OM 補佐 2 名で隔週定例経営会議を開催。これを受けて専務理事（統括マネージャー兼務）の下、具体事業、具体業務を進める体制を取っており、事務局の内部協議を隔週で行っている。

長浜市とは専務理事、IM、地域事業化プロデューサーが出席して報告会議を必要に応じて開催し、IM、プロデューサーの活動報告を行い、運営について指導・助言を受けている。

長浜バイオインキュベーションセンター 入居者の一覧

2019 年 5 月 現在

部屋 番号	入居者名	代表者	事業内容
1 ----- 2	株式会社フィジカル http://www.biwako.ne.jp/~physical		健康、美容商品の企画開発 顔ダニ製品の新規開発、販売
3	ツジコー株式会社 http://www.tsujiko.com/		健康食品原料の開発
4 ----- 5	株式会社プロクルー http://e-ohmi.net/		1 次産業向け IoT やドローンを活用した生産 管理システムの開発など IoT や AI を取り入 れた新たなビジネスモデルの創出
6	株式会社ワンセル http://www.onecell.co.jp		組織再生と体質改善を促す機能性分子を含む 商品群の開発・製造・販売
7	長浜バイオ大学 http://www.nagahama-i-bio.ac.jp		長浜バイオ大学研究者による各種共同研究、 受託研究
8	株式会社フロンティアファーマ http://frontierpharma.jp		分子標的抗がん剤の創薬、創薬・診断薬の新 規基盤技術の開発
9	シェアオフィス openjoynt		創業希望者、新規事業化支援希望者、第 2 創 業希望者のビジネスインキュベーション室と して利用。また、ソーシャルビジネス、コミ ュニティビジネス支援希望者も含む。
10	株式会社バイオセラピーメディカル http://www.btmcl.com		難治性創傷治療用ウジ事業及び有効成分の研 究事業
11			
12	ジーワン株式会社 http://www.g-1.ne.jp		リップルシステム通信技術を用いた心不全及 び認知症患者等の健康管理用ウェアラブル機
13 ----- 16	株式会社膠原病研究所 http://irdbio.co.jp/		膠原病の新規治療薬の研究開発：全身性エリ テマトーデス（SLE）の分子標的治療薬の開 発
14	株式会社山正 http://www.moxa.net/		艾製造に伴うヨモギ残渣を活用した健康食品 関連開発及び「伊吹艾」のブランド化。 独自ヨモギ栽培技術の確立等。
15	ジーズアップ株式会社 http://gs-up.co.jp/		染毛剤、化粧品の開発
17	株式会社宝樹 https://www.houjyu-world.com/		国際基準適合商品である水素水生成装置の開 発と販売

研究室数の総数 17 室

入居者数 11 社、長浜バイオ大学、シェアオフィス（16 室）

●2018年4月の入居者一覧

部屋番号	企業名
1	株式会社フィジカル
2	
3	ツジコー株式会社
4	株式会社プロクルー
5	
6	株式会社ワンセル
7	長浜バイオ大学
8	株式会社フロンティアファーマ
9	シェアオフィス
10	株式会社バイオセラピーメディカル
11	
12	ジーワン株式会社
13	株式会社膠原病研究所
14	株式会社山正
15	ジーズアップ株式会社
16	株式会社膠原病研究所
17	株式会社明豊建設



●2019年3月の入居者一覧

部屋番号	企業名
1	株式会社フィジカル
2	
3	ツジコー株式会社
4	株式会社プロクルー
5	
6	株式会社ワンセル
7	長浜バイオ大学
8	株式会社フロンティアファーマ
9	シェアオフィス
10	株式会社バイオセラピーメディカル
11	
12	ジーワン株式会社
13	株式会社膠原病研究所
14	株式会社山正
15	ジーズアップ株式会社
16	株式会社膠原病研究所
17	株式会社宝樹

●2018年4月以降 入居企業

	企業名	入居日
1	株式会社膠原病研究所 13号室、16号室	H30.4.1
2	株式会社宝樹	H30.10.1

●2018年4月以降 卒業企業

	企業名	卒業日
1	株式会社明豊建設	H30.9.30

●2019年3月のシェアオフィス利用者

部屋番号	利用者名
1	村上デザイン事務所
2	リライアブル
3	
4	
5	日本コンサルティング総合研究所株式会社
6	一般社団法人スイビー

創業支援関連事業報告

長浜市創業支援事業計画に基づいて、長浜ビジネスサポート協議会と協働で、地域の起業家予備軍に対して、起業意識の醸成からテストマーケティング、成長支援までの一貫した支援を実施した。

1. 起業家予備軍の発掘育成

(1) 創業塾

2014 年度からスタートした創業塾は、2018 年度で 5 年目を迎えた。創業に必要な知識手法の習得（経営・財務・人材育成・販路開拓）の機会を実践的なワークショップ形式を中心に提供した。

【第 9 期】

実施期間： 2018 年 9 月 12 日 ～ 12 月 19 日

場所： 長浜市役所

受講者： 44 名



2. 起業・新事業支援

(1) 専門家による個別支援

地域事業化プロデューサーを配置しハンズオン支援を提供した。2018 年度は支援内容の質量拡大に対応すべく地域事業化プロデューサーと連携しハンズオン支援を行う地域事業化アソシエイトを配置し対応した。

(2) テストマーケティング

支援対象者の商品やサービスがより速く顧客対象からの評価を得られるように、人の動きが活発なポイントでアンテナショップやブースを設けた。

2018 年度はイオン長浜店と長浜駅前にオープンした長濱ええもんショップセイキン内にアンテナショップブースを設置した。

【イオン長浜店】

実施日： 2018 年 11 月 3 日～4 日

出店者： 8 者・社



【長濱ええもんショップセイキン】

実施日： 2018 年 12 月 1 日～12 月 31 日

出店者： 6 者・社



3. 若者向け起業家教育

学生を中心とした若者（創業無関心者）を対象として、地域の起業や事業活動を肌で感じることで「地域共創プログラム」を実施した。

実施期間：8月～12月

参加者：8名

【参加プロジェクト内容】

- ・鶏足寺茶園再生マーケティング
- ・新規アンテナショップ開設マーチャндаイズ
- ・ネットショップ－ブログ連携
- ・農産物用途開発
- ・バイオマス関連事業改善



開講式



実習様子



実習様子



成果報告会

4. 地域資源活用型起業家教育

今まで実施してきた地域資源活用発掘プロジェクトの参加者等が、各プロジェクトを事業化・組織化していくために、衆知を集めて課題の検討やグループ形成の支援、また新しい起業家を発掘する目的で交流相談会（アグリビジネス－カフェ、ワークショップ）を開催した。

（1）アグリビジネス－カフェ

【1回目】

開催日：2018年10月26日

内 容：地域おこしは農業から－農業が人を動かす－

「農業が人を動かし、地域を変えていく可能性」

講師 草野農場

「湖北の農に関わったこれまでとこれから」

講師 伊吹山スロービレッジ

「鶏足寺茶園再生から新しい力が芽吹く」

講師 株式会社ふるさと夢公社きのもと

参加者：24名

【2回目】

開催日：2019年3月29日

内 容：地域おこしは農業から－農業が人を動かす－

「何もない場所であったふるさとへの危機感から、

トラ男・シェアビレッジ、そして・・・3KM2のしあわせづくり」

講師 シェアビレッジ 村長／トラ男米プロデューサー

参加者：28 名

(2) ワークショップ

開催日：2018 年 12 月 25 日

内 容：地域資源を使って稼ぐを考えるワークショップ

参加者：9 名



アグリビジネスカフェ



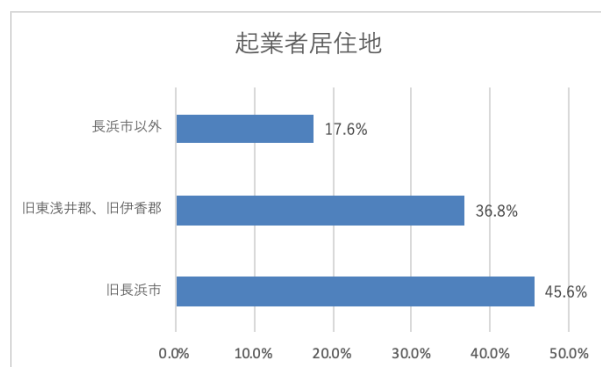
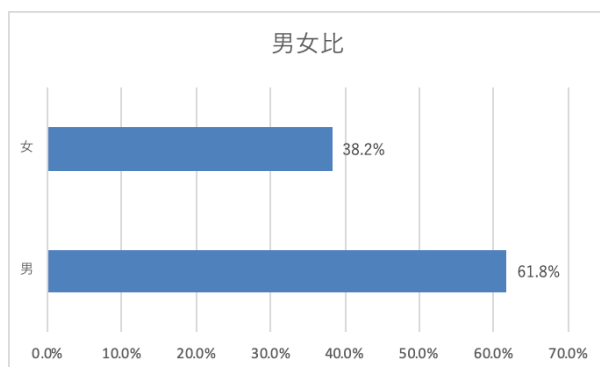
ワークショップ

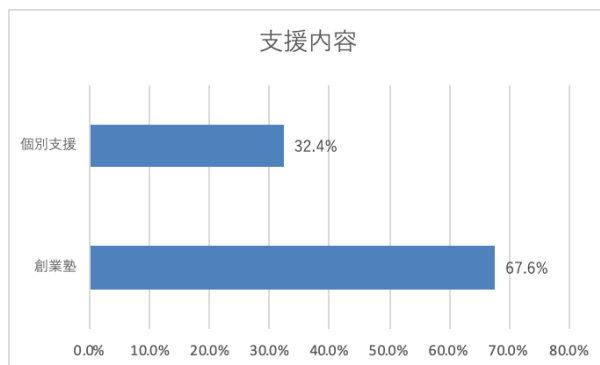
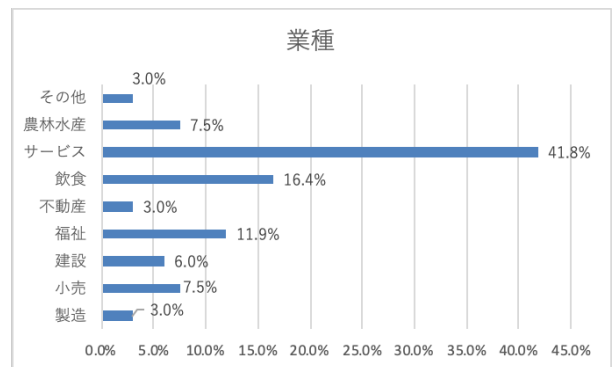
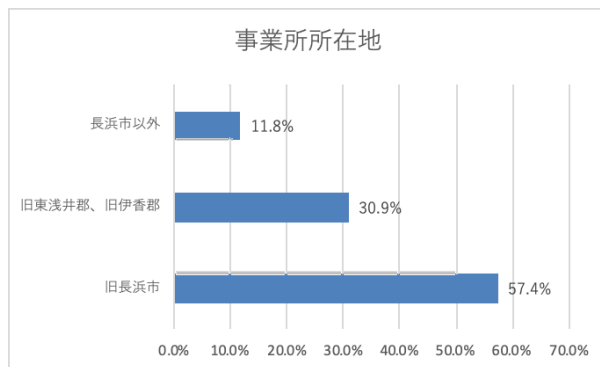
5. まとめ

(1) 起業、支援対象者件数

	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	合計
起業件数	11	13	16	15	13	68
支援対象者数	129	113	123	76	53	494

(2) 起業家動向





(3) 今後の取り組み

一般社団法人ビジネスサポート協議会と連携し、2019 年 11 月末開設予定の長浜産業創造センターの機能検討の準備を進める。

- 創業支援機能を発展的に取り込む
- 地域企業や広域プロジェクト、オール長浜での取り組みを応援できる体制づくり
- 次の担い手（起業家・若手）が活躍、新たな人を惹きつける魅力ある環境整備

アグリビジネス推進事業支援業務報告

1. 概要

長浜市が小谷城スマートインターチェンジ6次産業化拠点構想に基づき農業の成長産業化を目指すことを支援する。

2. 実施内容

(1) 人材育成事業

新規農業者を創出し、育成するため、ビニールハウスを使った施設型園芸（ういず One）でミニトマトによる就農実習を行う「ながはまスマート園芸チャレンジ事業」を実施した。
事業に参加する実習生を募集・選考後に、丁野試験圃場に設置した実習ビニールハウスにて、JA 北びわこの営農指導の下で実習を進めた。

【実習生の募集および説明会の実施】

募集期間 : 2018 年 4 月 16 日 ~ 5 月 31 日

説明会開催日 : 2018 年 5 月 23 日 (水) 10:30 ~

説明会内容 : 「ういず One」で就農されている先輩農家の見学
実習地の見学

事業内容及び収益モデルの説明 など

結果 : 応募者 4 名から 2 名を選考



【ういず One 研修会】

開催日 : 2018 年 6 月 27 日

内容 : 「ういず One」によるトマト栽培講習
「ういず One」導入農業者視察

【実習】

養液栽培装置設置作業、ミニトマト苗定植作業をはじめとする実習を JA 北びわこの営農指導のもと実施



しかしながら、9月4日の台風21号の影響により実習ビニールハウスが全壊し、実習の継続が困難となる。

その後、実習の早期再開をはかるために、倒壊したビニールハウスおよび機材を撤去し、農業用施設修繕業務により、台風対策強化仕様のビニールハウスを再建した。



全壊したビニールハウス



再建したビニールハウス

(2) 体験型観光農園の実証

丁野試験圃場の30aにて地域農業者である有限会社湖国農産の協力のもと、農園運営を行なった。

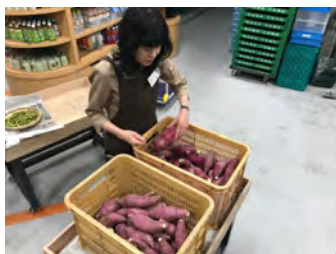
栽培作物　：　さつまいも・枝豆

定植・播種　：　5月下旬～6月

栽培方法　：　SOFIX 土壌分析結果をもとに栽培



しかしながら、観光農園も台風の被害を受けたことにより収益性が検証できる収量を確保することができなかったため、活動広報とマーケティングを実施した。



エキマチマルシェにてテスト販売



小谷城戦国祭りにて広報活動

(3) 高付加価値農産物の実証栽培

農業者の所得増大につながる高付加価値農産物として「あおばな」の実証栽培を地域農業者 8 者（社）の協力を得て実施し、栽培マニュアルの策定をおこなった。

【あおばなの実証栽培】

① 育苗

播種： 3 月末～4 月上旬

歩留： 80%

引渡： 4 月中旬～5 月中旬



播種直後



引渡前の苗

② 定植・生育管理

4 月末から 5 月下旬に各農業者において定植をおこない、収穫までの生育管理を実施した。
(8 農業者で合計 130a 栽培)

③ 収穫

7 月中旬から 8 月中旬にかけて各農業者生育状況にあわせ収穫した。刈払い機や手作業を中心に収穫したが、一部ヤンマーアグリジャパン株式会社の協力により野菜収穫機導入テストを実施し、良好な結果を得た。収穫数量は 20t となった。



野菜収穫機での収穫の様子

④ 今後の課題

- ・ 収穫の機械化
- ・ 長浜市内で乾燥工場の確保
- ・ 滋賀ブランドとしての認知度向上
- ・ 有効成分のバラツキを抑え上昇させる栽培方法の確立

【あおばな後作の検討】

「あおばな」の収穫が 8 月中旬に終了することから、後作として農研機構が開発した主に葉茎を食用とするさつまいも「すいおう」を試験栽培および販売をおこなった。

栽培地： びわ町圃場

面積： 1a

定植日： 8 月 6 日

収穫： 10 月中旬～11 月中旬

販売場所： 産直びわ

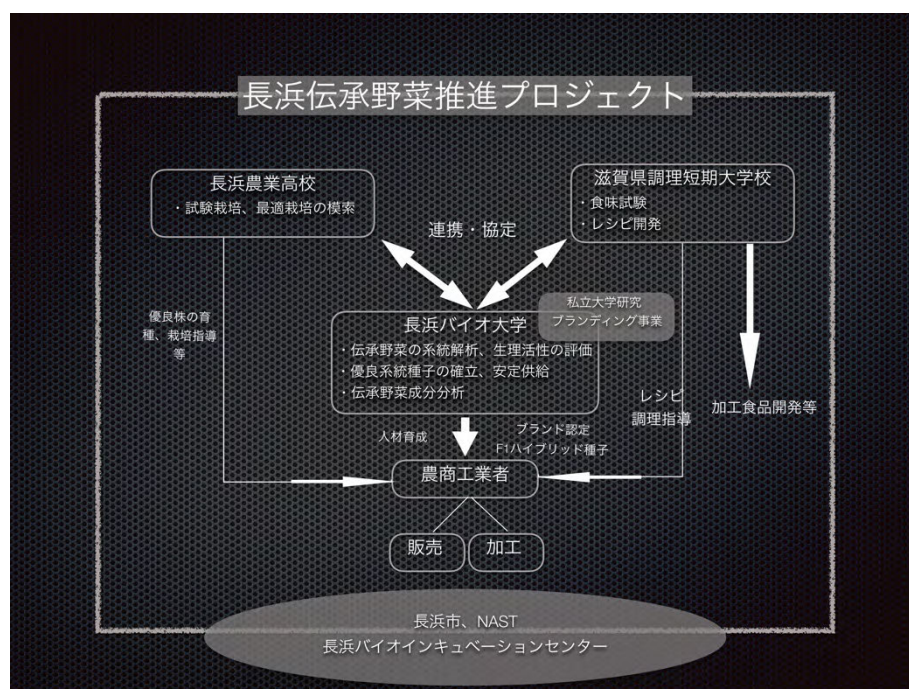


すいおう

(4) 伝承野菜のブランド化推進事業

湖北地域における伝承野菜を発掘し、ブランド化することにより、地域の新たな産業振興、特産品作り、6次産業化を目指して取り組む。

今年度は、尾上地区に伝わる伝承野菜である「尾上菜」、湖北地区に伝わる「伊吹大根」のブランディングを、長浜バイオ大学が文部科学省より採択を受け実施している「私立大学研究ブランディング事業」と連携して実施した。



プロジェクト連携の体制図

【栽培用ビニールハウスの設置】

長浜バイオ大学の学生とともに伝承野菜栽培用ビニールハウスを設置したが、台風の被害によりビニールハウスが全壊してしまったため、本格的試験栽培は 2019 年度から開始する。全壊したビニールハウスは、長浜市から農業用施設修繕業務の委託を受けて、再建した。



学生とともに設置したが、台風の被害を受けて全壊



再建したビニールハウス



再建後のハウス内で試験栽培



2019.3 月末の尾上菜



2019.3 月末の伊吹大根

【長浜農業高校による試験栽培の実施】

長浜農業高校にて、長浜バイオ大学において選抜した優良系統株の尾上菜と伊吹大根の試験栽培を開始した。栽培するだけでなく、学生たちが尾上菜の歴史を学ぶ講義や栽培した尾上菜を使った調理実習もおこなった。



京都新聞 2018.9.15



2018.9.14 播種



2018.10.5 ポッドから露地へ定植



2019.1.15 講義と調理実習



【普及啓発活動】

滋賀県立調理短期大学校の第 27 回調理展示会にて伝承野菜ブランディング事業の紹介と尾上菜の展示、「尾上菜のたたみ漬け」の試食等を実施した。



2018.11.14 第 27 回調理展示会での展示

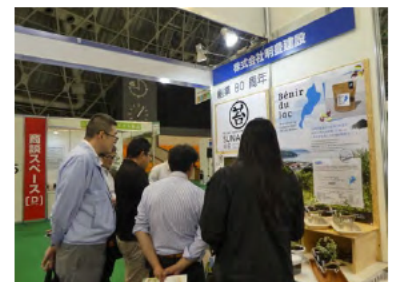
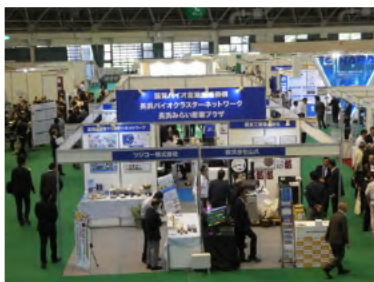
その他事業報告

1. びわ湖環境ビジネスメッセ特設ブース設置によるビジネスマッチング事業

長浜市より新産業創出地域連携事業（研究開発支援・販路開拓支援）業務委託を受け、びわ湖環境ビジネスメッセ 2018 会場内で特設ブースを設置。2018 年度は滋賀バイオ産業推進機構と長浜みらい産業プラザと協働で開催。9 社 3 支援機関が出展した。

(1) 出展企業一覧

出展企業	出展内容
株式会社アイティプランツ	データロガー&インキュベータ 温度調整ボックス (ITBOX)
株式会社開伸	V パック (梱包装体)
カシロ産業株式会社	ハニカム構造による樹脂製防音パネル『S A I N T』
国友工業株式会社	木質バイオマス燃料のペレットストーブ
ツジコー株式会社	健康茶、健康食品、化粧品原料の受託事業 ラオス固有ハーブ原料
株式会社プロクルー	ドローン講習の紹介 機体の展示 活動動画紹介
株式会社明豊建設	壁面アートにも活用できる苔シート「SUNAGOKE シート」 和のグリーンインテリア「MASUMOSS-SUNAGOKE-」 発酵促進材を使用した水草等の堆肥化工法「KS 工法」 琵琶湖の水草を利用した微生物有機堆肥「Biwa-Flex」
株式会社山久	工場内に見える化「稼働管理システム」の紹介 オリジナル VR コンテンツ
株式会社山正	長浜バイオ大学との共同研究（艾製造時に出る乾燥ヨモギの残渣分析）にて認められた抗インフルエンザウィルス作用を利用した商品（石鹸、あぶらとり紙等）
滋賀バイオ産業推進機構	滋賀バイオ産業推進機構の案内
長浜バイオクラスターネットワーク	びわ湖長濱ブループロジェクトの紹介
長浜バイオインキュベーションセンター	長浜バイオインキュベーションセンター入居企業の紹介



(2) 結果

メッセ全体来場者数

10月17日(水) 7,350名
10月18日(木) 9,380名
10月19日(金) 10,520名 総合計 27,250名

来場者数・商談数一覧

出展企業	来場者数	商談数	可能性大	商談成立
株式会社アイティプランツ	32	0	0	0
株式会社開伸	190	84	0	0
カシロ産業株式会社	132	28	10	0
国友工業株式会社	75	5	3	0
ツジコー株式会社	180	5	1	0
株式会社プロクルー	137	25	9	0
株式会社明豊建設	196	13	3	0
株式会社山久	250	20	4	0
株式会社山正	150	0	0	0
滋賀バイオ産業推進機構	33	0	0	0
長浜バイオクラスターネットワーク	142	0	0	0
長浜バイオインキュベーションセンター	35	26	6	0
合計	1,552	206	36	0

昨年度の実績(10社2支援機関の出展で、来場者数2323人、商談143件、可能性大66件、商談成立2件)

2. 長浜アカデミックサポートチーム(NAST)を活用した産学等連携強化事業

(1) 長浜アカデミックサポートチーム運営委員会の開催

開催日:2019年3月27日(水) 10:00~11:30

会場:長浜バイオ大学 大会議室

内容:①NASTメンバーについて、リーダーの交代

②NAST部会活動報告

③今後の活動内容及び意見交換

参加者:

[Redacted]
[Redacted]
[Redacted]
[Redacted]

長浜市

一般社団法人バイオビジネス創出研究会（ABBC）

（2）長浜アカデミックサポートチーム（NAST）部会の活動

2017 年 3 月に開通した小谷城スマートインターチェンジ（SIC）において、長浜市が進める小谷城 SIC 周辺 6 次産業化拠点構想について検討をすすめる中で、伝統野菜の推進について NAST に協力依頼があった。そこで湖北地域における伝承野菜を発掘しブランド化することにより地域の産業振興、特産品作り、6 次産業化を目指すことを目的とし、NAST 部会を 2017 年に設置した。そして、まずは湖北地域の伝承野菜の中から「尾上菜」と「伊吹大根」のブランディング化を進めている。

2018 年度は長浜バイオ大学が採択された「私立大学研究ブランディング事業」にも位置づけられて研究が進むとともに、長浜市と協働し、関係者との連携促進、試験圃場の整備、普及 PR などのコーディネート支援を実施している。

【NAST 部会 メンバー組織】

長浜バイオ大学／滋賀県立大学／奈良先端科学技術大学院大学／滋賀県立長浜農業高等学校／滋賀県調理短期大学校／一般社団法人ばんば楽楽ファーム／湖北町食事文化研究会／尾上菜生産者（農家）／長浜市／一般社団法人バイオビジネス創出研究会

【取組み内容】

- 尾上菜、伊吹大根はアブラナ科の植物であり、自家不和合性の性質を持っている。また他の近縁種との交雑により遺伝子汚染されており、形質が不揃いであり均一なものができないため、長浜バイオ大学では最新研究機材等を用いて優良株系統の確立を行い、遺伝子解析などを通じて優良種苗を効率的に育種することを目指し研究が進んでいる。
- 滋賀県立長浜農業高校では、得意としている栽培分野で試験栽培を実施している。今後は、最適栽培の方法の検証なども行っていく。
- 滋賀県調理短期大学校では、伝承野菜の新たな調理方法の開発やレシピ開発、食味試験などを実施し、伝承野菜の普及啓発・PRにも取り組んでいる。

3. 滋賀バイオプロジェクト創出サロン事業

滋賀バイオ産業推進機構（SBO）および ABBC が協働し、研究開発、産業化に向けた情報交換の場を提供するとともに、プロジェクト構築に向けた取り組みを支援することで、バイオ関連産業の創出・育成を図ることを目的とする。

(1) 運営会議の開催

2018 年度サロン事業の運営方針を決めるため、専門家らの有識者による運営会議を開催した。

日 時：2018 年 11 月 6 日（木）10：00 ～ 11：45

会 場：長浜バイオ大学 中会議室

出席者：



滋賀バイオ産業推進機構（SBO）

一般社団法人バイオビジネス創出研究会（ABBC）

内容まとめ：

2018 年度は「健康」をテーマに、滋賀県内をはじめとする大学で行われている研究内容や企業の事業内容を発表いただく場としてサロンを開催することになった。また、幅広い方に参加いただけるように開催場所や広報の仕方なども考えながら、ニーズとシーズを引き出し、新たなプロジェクトの創出を目指し取り組んでいく。



(2) 滋賀バイオプロジェクト創出サロンの実施

2018 年度 第 1 回滋賀バイオプロジェクト創出サロン

開催日時：2018 年 12 月 11 日（火）15：00 ～ 17：30

会 場：長浜市役所 3 階 コミュニティルーム 3-B

参加人数：58 名（関係者除く）

内 容：「水素がもたらす可能性とその展望－様々な分野で応用されている水素の本質を捉える－」

講師：日本医科大学 名誉教授／順天堂大学大学院 客員教授

「生理学的意義から見るインターバル速歩とは－最新運動パフォーマンスとビジネスの可能性－」

講師：関西大学人間健康部・大学院人間健康研究科 教授

2018 年度 第 2 回滋賀バイオプロジェクト創出サロン

開催日時：2019 年 2 月 28 日（木）15：00 ～ 16：30

会 場：長浜バイオ大学 大会議室

参加人数：26 名（関係者除く）

内 容：「運動との組み合わせにより筋肥大を引き起こすサプリメントの検討」

講師：立命館大学スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科 教授

2018 年度 第 3 回滋賀バイオプロジェクト創出サロン

開催日時：2019 年 3 月 15 日（金）15：00 ～ 16：30

会 場：長浜バイオ大学 セミナー室⑧

参加人数：30 名

内 容：「日本式健康寿命を考える－運動・栄養処方観の観点から－」

講師：立命館大学スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科 教授



2018年度事業一覧表

1. 主催・共催・後援事業

2018 年 5 月 10 日	青花栽培説明会	1. 青花栽培説明 2. 育苗状況確認	ばんば楽楽ファーム
長浜市委託事業 「アグリビジネス推進事業支援業務」			
2018 年 5 月 20 日	いきいき健康フェスティバル 2018		長浜バイオ大学 NBIC
いきいき健康フェスティバル			
2018 年 5 月 23 日	ながはまスマート園芸チャレンジ 事業 説明会	・「ういず One」で就農されている先輩農家の見学 ・実習地（小谷城スマート IC 栽培実験農場）の見学 ・事業内容および収益モデルの説明 ・選考会および選考方法の説明	長浜市役所 湖北支所
長浜市委託事業 「アグリビジネス推進事業支援業務」			
2018 年 5 月 23 日	小谷城スマート IC 栽培実験農場 関係者会議	・事業説明「小谷城スマート IC 栽培実験農場の取り組みについて」 ・意見交換	曳山博物館 会議室
長浜市委託事業 「アグリビジネス推進事業支援業務」			
2018 年 5 月 30 日	バイオビジネス創出研究会・長浜 みらい産業プラザ合同総会記念講演会 「大学と地域連携－滋賀大学の新しいすがた－」		北ビワコホテル グラツィエ
長浜市委託事業 「新産業創出地域連携事業」			
2018 年 6 月 4 日	ながはまスマート園芸チャレンジ 事業 実習生選考委員会	応募者数 4 名	長浜市役所
長浜市委託事業 「アグリビジネス推進事業支援業務」			
2018 年 6 月 27 日	ながはまスマート園芸チャレンジ 事業 「ういず One」研修会	・「ういず One」によるトマト栽培講習 ・「ういず One」導入農業者視察	北びわこ農協 浅井西支店
長浜市委託事業 「アグリビジネス推進事業支援業務」			
2018 年 7 月 3 日	ながはまスマート園芸チャレンジ 事業	・養液栽培装置設置作業	小谷城スマート IC 栽培実験農場
長浜市委託事業 「アグリビジネス推進事業支援業務」			
2018 年 7 月 10 日	ながはまスマート園芸チャレンジ 事業	・ミニトマト苗定植作業	小谷城スマート IC 栽培実験農場
長浜市委託事業 「アグリビジネス推進事業支援業務」			

2018 年 7 月 13 日			
NBIC 入居者懇談 会	NBIC 入居者懇談ランチ会		NBIC
2018 年 8 月 28 日			
長浜市委託事業 「アグリビジネス推 進事業支援業務」	小谷城スマート IC 栽培実験農場 関係者会議	・これまでの経過と実績報告 ・今後の取り組みについて ・意見交換	曳山博物館 会議室
2018 年 9 月 12 日～ 12 月 19 日			
中小企業基盤整備 機構 「創業支援事業者 補助金」	ながはま・こはく創業塾 第 9 期	2018 年 9 月 12 日～12 月 19 日 全 15 回 開催	長浜市役所
2018 年 10 月 8 日			
長浜市委託事業 「アグリビジネス推 進事業支援業務」	小谷城戦国祭り	小谷城スマート IC 栽培実験農場 関係者出店	小谷城戦国歴史 資料館
2018 年 10 月 17 日～ 19 日			
長浜市委託事業 「新産業創出地域連 携事業（研究開発支援 ・販路開拓支援）」	びわ湖環境ビジネスメッセ特設ブ ース 2018 （びわ湖環境ビジネスメッセ会場 内で開催） （長浜バイオクラスターネットワ ーク・滋賀バイオ産業推進機構・ 長浜みらい産業プラザで主催）	≪出展≫9 社 3 団体 ・（株）アイティプランツ ・（株）開伸 ・（株）カシロ産業 ・国友工業（株） ・ツジコー（株） ・（株）プロクルー ・（株）明豊建設 ・（株）山久 ・（株）山正 ・滋賀バイオ産業推進機構 ・長浜バイオクラスターネットワーク ・長浜バイオインキュベーションセン ター	長浜バイオ大学 ドーム
2018 年 10 月 17 日			
滋賀バイオ産業推 進機構 バイオビジネスセ ミナー（後援）	バイオビジネスセミナー 「琵琶湖資源の利活用に向けた新 たな展開の模索」 「内陸国ラオスの暮らしを支える 淡水魚の発酵食品」 「水生植物も活かせば資源」	 	長浜バイオ大学 ドーム セミナー室①
2018 年 10 月 26 日			
長浜市委託事業 「アグリビジネス推 進事業支援業務」	長浜青花振り返り会	・ 今年の結果と来年以降の展望 について ・ 意見交換	長浜バイオ大学

2018 年 10 月 26 日	第 43 回アグリビジネス - カフェ 「地域おこしは農業から - 農業が 人を動かす -」		
長浜市委託事業 「新産業創出地域 連携事業」	「農業が人を動かし、地域を変え ていく可能性」 「湖北の農に関わったこれまでと これから」 「鶏足寺茶園再生から新しい力が 芽吹く」		長浜バイオ大学
2018 年 11 月 3 日～4 日	アンテナショップ 「ナンダカナガハマアタラシイ in イオン長浜店」	・ Match Leather Works ・ 紡ぎ-kannongirl ・ foret ・ (一社) ばんば楽楽ファーム ・ きっちんきんたろう ・ あぐり佐左エもん ・ (一社) 近江バジル協会	イオン長浜店
2018 年 11 月 6 日	滋賀バイオプロジェクト創出サロ ン 運営委員会	・ サロン事業について ・ これまでのサロン事業 ・ 2018 年度サロン事業開催概要 について ・ 講師候補について ・ その他	長浜バイオ大学
2018 年 11 月 13 日	地域共創プログラム開講式	・アントレプレナーシップと地域 ・地域企業と若者のつながりの可 能性 ・プログラム内容説明と現状 ・参加者自己紹介 & 意見交換	立命館大学 びわこ・くさつキ ャンパス
2018 年 12 月 1 日～31 日	アンテナショップ 「ナンダカナガハマアタラシイ in 長濱ええもんショップセイキン」	・ Match Leather Works ・ 紡ぎ-kannongirl ・ ふるさと夢公社きのもと ・ 合同会社 TUNAGU ・ 長谷健次 ・ 嶋崎善弘 ・ 百匠屋	長濱ええもんシ ョップセイキン
2018 年 12 月 11 日	第二創業・新事業アタックセミナ ー 2018 年度第 1 回滋賀バイオプロジ ェクト創出サロン		
長浜市委託事業 「新産業創出地域 連携事業」 滋賀バイオプロジ ェクト創出サロン	「水素がもたらす可能性とその展 望 - 様々な分野で応用されている 水素の本質を捉える -」 「生理学的意義から見るインター バル速歩とは - 最新運動パフォー マンスとビジネスの可能性 -」		長浜市役所

2018 年 12 月 21 日			
中小企業基盤整備 機構 「創業支援事業者 補助金」	地域共創プログラム 成果報告会	受講生成果発表 意見交換会	立命館大学
2018 年 12 月 25 日			
中小企業基盤整備 機構 「創業支援事業者 補助金」	地域資源を使って稼ぐを考える ワークショップ		長浜バイオイン キュベーション センター
2019 年 2 月 28 日	2018 年度第 2 回 滋賀バイオプロジェクト創出サロ ン 「運動との組み合わせにより筋肥 大を引き起こすサプリメントの検 討」		長浜バイオ大学
2019 年 3 月 15 日	2018 年度第 3 回 滋賀バイオプロジェクト創出サロ ン 「日本式健康長寿を考える ー運 動・栄養処方の観点からー」		長浜バイオ大学
2019 年 3 月 27 日	長浜アカデミックサポートチーム (NAST) 運営会議	運営委員について NAST 部会報告 今後の活動について	長浜バイオ大学
2019 年 3 月 29 日	第 44 回アグリビジネス - カフェ 「地域おこしは農業から - 農業が 人を動かす -」		
長浜市委託事業 「新産業創出地域連 携事業（研究開発支援 ・販路開拓支援）」	第 1 部 講演会 「何もない場所であったふるさと への危機感から、トラ男・シェア ビレッジ そして… 3 KM 2 のし あわせづくり」		長浜バイオ大学
	第 2 部 意見交換会		

2. その他

		2018年5月9日 2018年7月11日 2018年9月12日 2018年11月14日 2019年1月23日 2019年3月13日	北ビワコホテル グラツィエ
300年経営塾	300年経営塾		
		2018年5月17日 2018年7月24日 2018年9月25日 2018年12月22日 2019年2月19日	長浜バイオ大学
デジタルイノベーション研究会	デジタルイノベーション研究会		
滋賀IMネットワーク	滋賀IMネットワーク会議	2018年9月11日	コラボしが
	長浜サイエンスパーク運営協議会		
長浜サイエンスパーク運営協議会	・長浜バイオ大学 ・星野科学(株) ・イオンディライトアカデミー(株) ・マルホ(株) ・山岡ヤマゼン(株) ・サイアヤファーマ(株) ・マリンフード(株) ・長浜バイオインキュベーションセンター	2018年7月5日 2018年9月26日 2018年12月18日	長浜バイオ大学



一般社団法人バイオビジネス創出研究会
〒526-0829 滋賀県長浜市田村町1281-8
(長浜バイオインキュベーションセンター内)
電話 0749-65-8808 FAX 0749-65-8858
URL : <http://biobiz.jp/>
E-mail : info@biobiz.jp

一般社団法人バイオビジネス創出研究会 2019年度事業報告

一般社団法人バイオビジネス創出研究会

滋賀県長浜市田村町 1281-8
長浜バイオインキュベーションセンター
TEL：0749-65-8808

2019年度 ABBC 経営・運営概況報告

指定管理事業は、長浜バイオインキュベーションセンター（NBIC）の指定管理者としての3期目（28年度から5年間）の4年度、通算14年目となり、入居料・指定管理料を主たる収入源として、長浜市と締結したセンターの管理に関する協定書に基づいて、入居企業の支援を柱とした管理運営にかかる多くの事業業務は箕浦インキュベーションマネージャー（IM）を中心に遂行している。

会費事業は、会費を主たる収入源として運営しており、滋賀バイオ産業推進機構（SBO）と連携して、バイオビジネスにかかる情報提供、セミナー開催・マッチング事業への参加呼びかけのみならず会員個別の創業・事業化の相談・支援にも応じている。会員企業のために300年経営塾やデジタルイノベーション研究会の事務局も受け持っている。これらの事業業務は箕浦IMが中心に担当している。

創業支援事業は、バイオビジネスだけでなくソーシャル、コミュニティビジネスを含む創業支援に関して、2019年度も長浜市より新産業創出地域連携事業が委託され、併せて国の創業支援等事業者補助金が採択されたので、長浜市の政策（産業振興ビジョン・創業支援事業計画）具現化のために創業支援事業者として、商工会議所・商工会と連携しつつ各種事業を加藤地域事業化プロデューサーが中心に行った。これらの起業家育成のための事業、ノウハウは2019年12月にオープンされた長浜ビジネスサポートセンターの核機能に位置づけられている。更なるビジネスサポートセンターの機能構築のため、長浜ビジネスサポート協議会との協働を推し進めている。

2019年の小谷城スマートインターチェンジ（SIC）関連事業は、「6次産業化人材育成・ブランド化推進事業支援業務」を長浜市から委託を受け、人材育成、高付加価値農産物の実証栽培、地域伝承野菜のブランド化推進、ビジネスマッチングなどの業務を加藤地域事業化プロデューサー、箕浦IMを中心に行った。

その他の受託事業として、長浜アカデミックサポートチーム（NAST）事業、環境メッセへの出展事業及び滋賀県関連のSBOからのSBOサロン事業は、2019年度も継続して委託され、これらは箕浦IMが中心に担当した。

会員事業報告

長浜バイオ大学の誘致を契機に地域企業が核となって設立された当会は「滋賀の地に産官学連携によるバイオクラスターを形成」というビジョンを掲げた。長浜サイエンスパークには、長浜バイオ大学、長浜バイオインキュベーションセンター（NBIC）がコア施設として立地され、バイオ関連 6 社の企業も進出している。当会が平成 18 年度より長浜市の指定管理者として運営する NBIC も延べ 40 社の事業支援をおこなってきており、長浜の地に産官学連携によるバイオクラスターが小さいながらも形成され、ビジョンの具現化が図れてきた。

2020 年 3 月末現在の会員数は、企業 17 社、個人会員 9 名、その他 54 社名である。2019 年度も総会で承認された事業計画に基づき会員事業として情報提供事業、研修会・講習会の開催事業、創業・事業化支援事業、マッチング機会創出事業等幅広く行った。下期には、専門家を召集しての企業個別相談会の実施や、最新情報やトレンドや技術を紹介するセミナーなどを実施した。

また、シェアオフィス（openjoynt）をインキュベーションセンター内に設けており、IM・地域事業化プロデューサー両名の支援を柱に展開しており、会員にも利用を呼びかけている。

会員に対しては主催、共催事業、クラスターネットワーク事業、滋賀バイオ産業推進機構（SBO）事業、IM ネットワーク事業の案内や情報を提供している。企業会員は本年度も SBO 会員に登録されており、SBO から情報提供がなされている。

企業会員、個人会員への事業支援・相談窓口としては IM および地域事業化プロデューサーが担当している。

また、地域において、第 2 創業に挑戦する企業を育てるために 300 年経営塾が代表・顧問理事の主宰で 2 ヶ月に一度開催されており、NBIC の PR を兼ね、2019 年度も入会し事務局を受け持っている。さらに、藤田義嗣副代表理事が会長を務められ、若林浩文理事が副会長を務められている『デジタルイノベーション研究会』の事務局も受け持たせていただき、AI やビッグデータ、IoT といった今後のキーテクノロジーとなるテーマを取り上げ、セミナーや勉強会を開催している。

バイオビジネス創出研究会 2019年度 会員数推移

種別	期首	増	減	3月31日現在
企業	20	0	3	17
個人	11	0	2	9
アカデミック	27	0	1	26
学生	0	0	0	0
賛助	19	0	1	18
BI特別	12	0	2	10
合計	89	0	9	80

指定管理業務報告

◆2019 年度入居状況

2019 年の度入居状況は 4 月当初は 17 室中 15 室入居（1 室はシェアオフィス）からスタートした。9 月に株式会社膠原病研究所が移転され、10 月末にはツジコー株式会社が卒業された。2019 年度の採算分岐点は 14 室とみていたが、通年で 13.6 室と採算分岐点を若干下回る形で推移。シェアオフィスについては、3 月末時点で 4 名の利用状況となっている。研究室は 4 室の空き状況であり、次の新たな入居勧誘を積極的に行っている。

◆センター運営事業

指定管理者としてセンター運営事業の目的は、入居企業や地域企業に対するバイオ関連分野を主とした創業・事業化支援による地域産業の活性化と雇用の創出にあり、以下の事業を行っている。

センター運営事業の柱である入居企業、相談に来られる地域企業への支援は IM と地域事業化プロデューサーが担当している。入居企業の課題は IM が把握しており要望に応じて対処している。地域企業に対する第 2 創業、新事業化支援については、企業からの相談の他に、先進事例のセミナー開催や、勉強会の開催等を行いながらアプローチをしてきた。

シェアオフィス（openjoynt）については、メインステージ（次期入居企業候補）及び市内に新たな企業を輩出することを目指し、空き室を利用し、2019 年度も引き続き設置した。

◆センター管理業務

長浜市と締結した協定書の仕様書に準拠して施設の維持管理業務や入居料の集金などの経理業務を日常行っている。加えて入居者懇談会の開催、長浜サイエンスパーク（長浜バイオ大学、進出企業 6 社、ABBC）運営協議会事務局などの業務に箕浦 IM（OM 兼務）、2 名の職員（OM 補佐）が対応している。

◆センター運営体制

代表理事、顧問理事、専務理事（事務局長 兼 統括マネージャー）、相談役、IM(OM 兼務)および地域事業化プロデューサー、OM 補佐 2 名で隔週定例経営会議を開催。これを受けて専務理事の下、具体事業、具体業務を進める体制を取っており、事務局の内部協議を隔週で行っている。

長浜市とは専務理事、IM、地域事業化プロデューサーが出席して報告会議を必要に応じて開催し、IM、プロデューサーの活動報告を行い、運営について指導・助言を受けている。

長浜バイオインキュベーションセンター入居企業一覧

2020 年 3 月 31 日 現在

部屋 番号	入居者名	代表者	事業内容
1	株式会社フィジカル		健康、美容商品の企画開発
2	http://www.biwako.ne.jp/~physical		顔ダニ製品の新規開発、販売
3			
4	株式会社プロクルー		1 次産業向け IoT やドローンを活用した生産
5	http://e-ohmi.net/		管理システムの開発など IoT や AI を取り入 れた新たなビジネスモデルの創出
6	株式会社ワンセル http://www.onecell.co.jp		組織再生と体質改善を促す機能性分子を含む 商品群の開発・製造・販売
7	長浜バイオ大学 http://www.nagahama-i-bio.ac.jp		長浜バイオ大学研究者による各種共同研究、 受託研究、7-3 号室はゲノム編集研究所の拠 点としても利用。
8	株式会社フロンティアファーマ http://frontierpharma.jp		分子標的抗がん剤の創薬、創薬・診断薬の新 規基盤技術の開発
9	シェアオフィス openjoynt		創業希望者、新規事業化支援希望者、第 2 創 業希望者のビジネスインキュベーション室と して利用。また、ソーシャルビジネス、コミ ュニティビジネス支援希望者も含む。
10	株式会社バイオセラピーメディカル http://www.btmcl.com		難治性創傷治療用ウジ事業及び有効成分の研 究事業
11			
12	ジーワン株式会社 http://www.g-1.ne.jp		リップルシステム通信技術を用いた心不全及 び認知症患者等の健康管理用ウェアラブル機 器の開発等
13			
14	株式会社山正 http://www.moxa.net/		艾製造に伴うヨモギ残渣を活用した健康食品 関連開発及び「伊吹艾」のブランド化。 独自ヨモギ栽培技術の確立等。
15	ジーズアップ株式会社 http://gs-up.co.jp/		染毛剤、化粧品の開発
16			
17	株式会社宝樹 https://www.houjyu-world.com/		国際基準適合商品である水素水生成装置の開 発と販売

研究室数の総数 17 室

入居者数 9 社、長浜バイオ大学、事業支援室（13 室）

●2019年4月の入居者一覧

部屋番号	企業名
1	株式会社フィジカル
2	
3	ツジコー株式会社
4	株式会社プロクルー
5	
6	株式会社ワンセル
7	長浜バイオ大学
8	株式会社フロンティアファーマ
9	シェアオフィス
10	株式会社バイオセラピーメディカル
11	
12	ジーワン株式会社
13	株式会社膠原病研究所
14	株式会社山正
15	ジーズアップ株式会社
16	株式会社膠原病研究所
17	株式会社宝樹



●2020年3月の入居者一覧

部屋番号	企業名
1	株式会社フィジカル
2	
3	
4	株式会社プロクルー
5	
6	株式会社ワンセル
7	長浜バイオ大学 (7-3 ゲノム編集研究所)
8	株式会社フロンティアファーマ
9	シェアオフィス
10	株式会社バイオセラピーメディカル
11	
12	ジーワン株式会社
13	
14	株式会社山正
15	ジーズアップ株式会社
16	
17	株式会社宝樹

●2019年4月以降 卒業企業

	企業名	卒業日
1	株式会社膠原病研究所 13号室 16号室	2019/9/30
2	ツジコー株式会社 3号室	2019/10/31

長浜バイオインキュベーションセンター シェアオフィス利用者一覧

2019 年 3 月 31 日現在

部屋 番号	利用者名	事業内容
1	合同会社バスクロンジェニックス	生体サンプルからの核酸抽出と遺伝子解析の受託およびその情報を基にした治療薬・診断薬の開発
2	村上デザイン事務所	WEB サイトの制作・運営
3		
4		
5	日本コンサルティング総合研究所 株式会社	ファイナンシャルプランナー事業
6	一般社団法人スイビー	琵琶湖における水上競技イベントの企画運営

創業支援関連事業報告

長浜市創業支援事業計画に基づいて、長浜ビジネスサポート協議会と協働で、地域の起業家予備軍に対して、起業意識の醸成からテストマーケティング、成長支援までの一貫した支援を実施した。

1. 創業・起業・新事業者発掘事業

(1) 創業塾

2014年度からスタートした創業塾は、2019年度で6年目を迎えた。創業に必要な知識手法の習得（経営・財務・人材育成・販路開拓）の機会を実践的なワークショップ形式を中心に提供した。

【第10期】

実施期間：2019年9月18日～12月4日

場所：長浜市役所／長浜ビジネスサポートセンター

受講者：48名

修了者：35名



(2) クラウドファンディング実践セミナー&ワークショップ

創業や新事業への後押しとなる創業塾のオプション講座として、新しい資金調達手段として活用が増えつつあるクラウドファンディングについて、基本からプロジェクト立ち上げまで学べるワークショップを開催。プロジェクトの立ち上げ後も継続サポートを実施した。

実施日：第1回 2019年11月18日 19:00～21:00

第2回 2019年12月9日 19:00～21:00

場所：第1回 長浜バイオインキュベーションセンター

第2回 長浜ビジネスサポートセンター

参加者：10名



(3) 創業支援情報提供ウェブサイトの運営

長浜市で新しいことにチャレンジする人を紹介するサイト「ナダカナガハマアタラシイ」を運営した。



2. 起業・新事業個別支援

(1) 専門家による個別支援

地域事業化プロデューサーを配置しハンズオン支援を提供した。昨年度に引き続き支援内容の質量拡大に対応すべく地域事業化プロデューサーと連携しハンズオン支援を行う地域事業化アソシエイトを配置し対応した。

実施期間： 2019 年 4 月～2020 年 3 月

対応件数： 363 件 支援対象者： 62 名

(2) テストマーケティング

支援対象者の商品やサービスがより速く顧客対象からの評価を得られるように、人の動きが活発なポイントでアンテナショップやブースを設けた。

2019 年度は「長濱ええもんショップセイキン」と、敦賀市のさかな街にある「茶夢里」にアンテナショップブースを設置した。

【長濱ええもんショップセイキン】

実施日： 2019 年 8 月 1 日～12 月 31 日

出店者： 5 者・社



【茶夢里】

実施日： 2019 年 10 月 1 日～12 月 31 日

出店者： 3 者・社



(3) コワーキングスペース

長浜で起業や新事業に挑戦する人が使用できる長浜ビジネスサポートセンター内のコワーキングスペース「長浜ビジネスフューチャールーム（略称 NBFR（ナビフル））」の運営支援。

イベントスペースとしても活用され認知度が上がり、利用者が増えつつある。



3. 起業家教育事業

(1) 若者向け起業家教育プログラム

学生を中心とした若者（創業無関心者）を対象として、地域の起業や事業活動を肌で感じることできる「地域共創プログラム」を実施した。

実施期間：2019 年 11 月～12 月

参加者：6 名

【実習先】

- ・一般社団法人あいたくて長浜
- ・大塚産業クリエイツ株式会社
- ・ LOCO
- ・ 合同会社 TUNAGU



開講式



実習様子

(2) 地域資源活用型起業家教育プログラム

新たな支援者の獲得、また支援者同士の交流や組織化を促すことを目的とし、地域資源を活用して起業を考える人を対象とした連続講座を開催。

企画名：地域資源で小さな仕事を考える

実施日：2019 年 11 月 17 日、11 月 24 日、12 月 15 日

場所：長浜市内各所

参加者：17 名

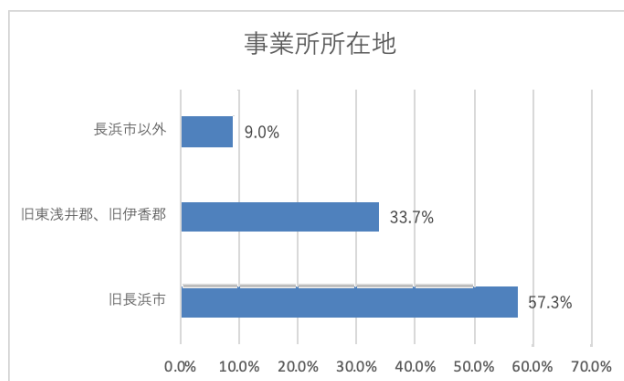
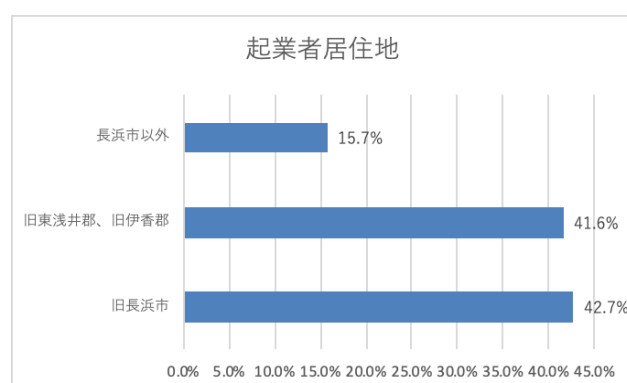
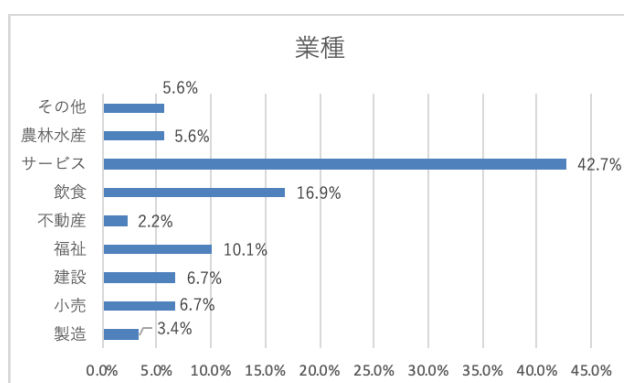
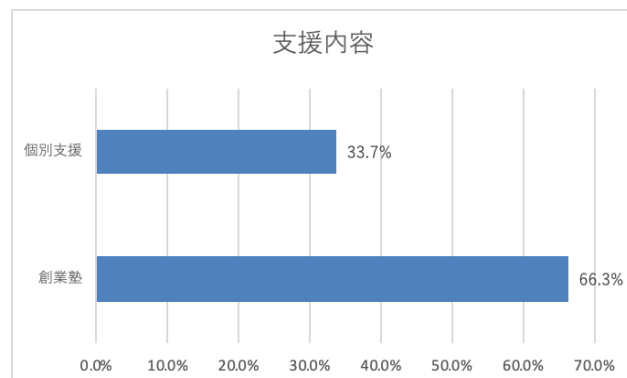
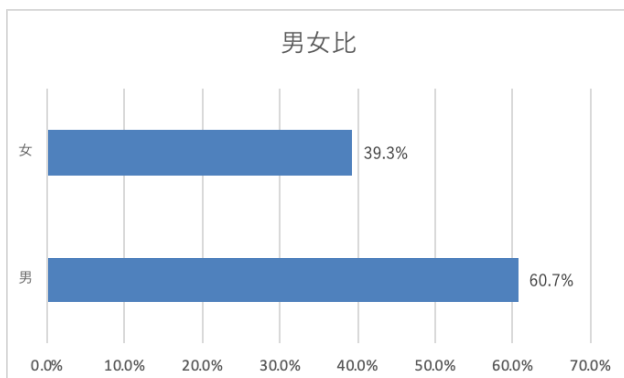


5. まとめ

(1) 起業件数

		2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	合計
起業件数		11	13	16	15	14	20	89
内 訳	創業塾	8	9	11	12	7	12	59
	個別支援	3	4	5	3	7	8	30

(2) 起業家動向



(3) 今後の取り組み

2019年12月1日に竣工した、長浜市内産業支援のワンストップ窓口となる「長浜ビジネスサポートセンター」により、これまで創業支援等事業により培われてきた支援機関同士の有機的連携をさらに底上げできる土台が整ってきた。

今後は、この体制をさらに発展させ、起業家精神あふれる創業者・支援対象者とともに既存の地域企業とも連携促進を促し、創業新事業創出の加速・事業継承問題への対応・市内人口の社会的要因による減少対策といったより広い視野での地域問題解決に貢献できるように体制強化を推進していく。

6次産業化人材育成・ブランド化推進事業支援業務報告

1. 概要

小谷城スマートインターチェンジ周辺において、6次産業化を支える人材育成や地域伝承野菜のブランド化を推進する事業を行うとともに、収益性のある農業経営のモデルづくりなど新たなアグリビジネスを推進する事業の実証及び調査研究を行う。

また、小谷城スマートインターチェンジ周辺の6次産業化拠点整備に向け、市内農家や企業の情報収集とビジネスマッチングの実施、並びに周辺地域への理解促進やネットワーク構築を行う。

2. 実施内容

小谷城スマートインターチェンジ栽培実験農場を中心として各事業を行った。



(1) 人材育成事業

新規農業者を創出し、育成するため、ビニールハウスを使った就農実習を行う「ながはまスマート園芸チャレンジ事業」を実施した。

当事業の実習生2名は、北びわこ農業協同組合や滋賀県、JA全農など関係機関の支援を受け、2018年度に引き続き、少量培土栽培装置「ういず One」を活用したプチトマトの栽培と、2019年度はメロンの栽培も行い、「ういず One」を活用したメロン栽培に滋賀県初で成功した。

【実習場所】

栽培実験農場内実習生用ビニールハウス（約 140 m² × 2 棟）

【栽培品目・スケジュール】

作目	管理者	2019 年										2020 年		
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
メロン ミニトマト	実習生 2 名	4/10 定植 7/10～収穫 8/6 定植 9/20～収穫 メロン ミニトマト ● 定植 ■ 収穫												

【結 果】

メロン：JA 北びわこの農産物直売所に約 260 個出荷し、内 198 個を販売
販売期間中に廃棄したメロンが約 10 個、売れ残り破棄が約 50 個

ミニトマト：市場に 726kg 出荷、JA 北びわこの農産物直売所で 77kg（150g × 513 袋）販売した。（合計 803kg を販売）

【今後の取組】

- 実習経験（知識、栽培技術、栽培データ）を活かし、栽培技術を向上させ、品質の向上と安定化、収量拡大と収益増を目指す。
- メロンの収量拡大については、適期防除による病害対策、ドライミストを活用した高湿度確保、1 槽 1 株栽培による糖度向上とサイズアップに取り組む。
- メロンの収益増については、ふるさと納税の活用や 6 次産業化商品（加工 OEM）の開発、実習生自らの販路開拓（道の駅、直売所等）によって、廃棄ロス低減に取り組む。
- ミニトマトの収量拡大については、定植時期を早めることで、1 株当たりの出荷量を増やす。



実習の様子

(2) 地域伝承野菜のブランド化推進

長浜バイオ大学、長浜農業高等学校、滋賀県調理短期大学校、長浜アカデミックサポートチーム等と連携し、地域伝承野菜（尾上菜等）の優良系統の採取ならびに栽培マニュアルの作成、素材を活かした新商品の開発や食文化・調理法の継承によって、ブランド化を推進した。

① 地域伝承野菜（尾上菜等）の優良系統の播種・栽培・収穫および採種】

長浜バイオ大学および小谷城スマートインターチェンジ栽培実験農場内ビニールハウスにて、トライコームを発現しない優良系統6系統を播種、栽培、収穫および採種を実施した。長浜バイオ大学では、優良系統の確立、栽培実験農場では実習や採種をメインに実施した。

尾上菜と伊吹大根

- 尾上菜 *Brassica rapa*
 - 長浜市湖北町の尾上地区で栽培されてきた葉物野菜
 - 漬物や煮物として自家消費されている。
- 伊吹大根 *Raphanus sativus*
 - 伊吹山の麓で栽培されてきた大根
 - 辛味が強く、そばの薬味として食べられている。

目的：形質が均一な優良系統を安定供給

尾上菜、伊吹大根の人工栽培

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
露地				花成		採種				播種		

↓

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
人工気象器	播種	低温処理		花成		採種	播種	低温処理		花成		採種

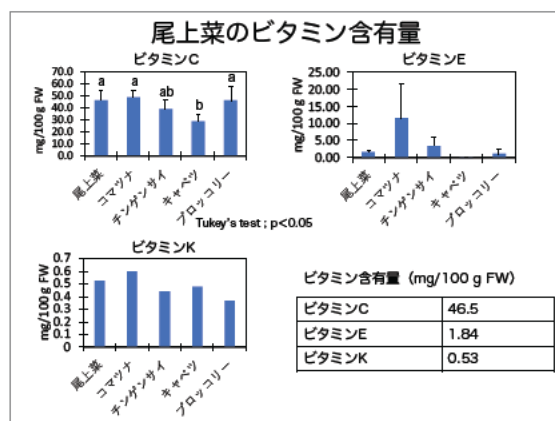
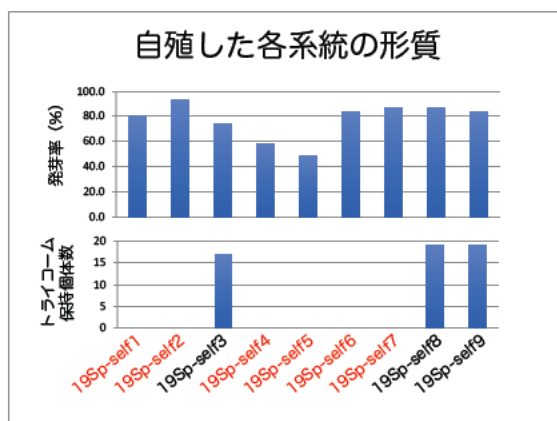
アブラナ科植物の自家不和合性

正常な雌雄両性花において、自己の花粉では受精が成立せず、種子の産生に他個体からの花粉が必要となる性質

尾上菜と伊吹大根の全ゲノム解析

	遺伝子数 (個)	ゲノムサイズ (MB)	平均CDS長 (bp)
尾上菜	68,408	423	1,009
伊吹大根	64,877	408	1,024

- 次世代シーケンスでゲノム配列を解析して遺伝子を予測した。
- 遺伝子数は、ミトコンドリアと葉緑体の情報も含む。
- 尾上菜と伊吹大根の全ゲノムの解析は世界初



【結 果】

- 尾上菜、伊吹大根は共に 9 月頃に播種を行い、越冬し春に種が取れる年 1 回の栽培サイクルであるが、長浜バイオ大学の人工気象機、春化处理を行うことで、年 2 回のサイクルで栽培が可能となった。
- 尾上菜と伊吹大根の全ゲノム解析は世界で初であり、F1 品種確立へ大きく前進した。

② 栽培マニュアルの作成

滋賀県立長浜農業高等学校にて、長浜バイオ大学から作出された優良系統 6 系統を播種。栽培を行いながら、各種データを採取した。また、尾上地区農家との情報交換や、長浜バイオ大学との高大連携を実施し、学生の人材育成も実施した。

【実 習】

- ・ 2019 年 4 月 25 日

長浜バイオ大学による自家不和合性の打開策（蕾受粉）の体験と実習
栽培実験農場の見学、農場で実施している各事業の説明
尾上菜生産者等との情報交換

- ・ 2019 年 7 月 3 日

蕾受粉の第 2 回目の実習

- ・ 2019 年 9 月 3 日

長浜農業高等学校と長浜バイオ大学との高大連携講座を実施
（尾上菜の特性やこれまでの研究成果の発表）

- ・ 2019 年 9 月 17 日

長浜農業高等学校にて、長浜バイオ大学で作出された 6 系統の尾上菜の種の播種を実施
尾上菜生産者による地域での尾上菜の栽培方法の指導と実習

- ・ 2019 年 10 月 1 日

長浜農業高等学校にて、尾上菜の定植作業を実施



実習の様子

【結 果】

長浜バイオ大学の指導の基に長浜農業高等学校の生徒が行った実習結果をデータ化（蕾受粉による自家受粉、他家受粉の結果を種の収量や大きさを基にデータ化）

③ 素材を活かした新商品開発、食文化・調理法の継承

【実施内容】

- ・長浜農業高等学校にて、湖北食事文化研究会 代表 肥田文子氏をお招きし、尾上菜を使った料理指導を実施した。
- ・滋賀県調理短期大学校において、19 品目の料理レシピを開発した。
- ・滋賀県調理短期大学校で開催された料理展示会で、学生に尾上菜を使った料理を各自 1 品入れてもらい展示した。



調理指導と料理展示会の様子

④ 関係者機関とのネットワーク構築

長浜アカデミックサポートチーム（NAST）、尾上菜生産者等との意見交換会の実施。また、その他関係団体等との意見交換会を随時実施した。

【実施内容】

- ・長浜アカデミックサポートチーム部会報告会
開催日： 2019 年 6 月 28 日
内 容： 尾上菜について、これまでの研究成果報告、尾上菜ブランド化に向けた協議を行った。
- ・長浜アカデミックサポートチーム運営会議
開催日： 2020 年 3 月 4 日
内 容： NAST 運営会議の中で、尾上菜のブランド化を検討する部会についての報告を行い、NAST 運営委員からアドバイスや意見をいただいた。



⑤ 普及啓発イベントの開催

尾上菜の普及啓発を行うため、各種イベントでの展示やセミナーを実施した。

【実施内容】

- ・小谷城スマートIC周辺で取り組む6次産業化セミナーの開催

開催日：2019年7月7日 13:30~15:00

会場：長浜バイオ大学

参加者：140名

内容：長浜バイオ大学学長による基調講演のほか、長浜バイオ大学や長浜農業高等学校等が連携し取り組んでいる地域伝承野菜「尾上菜」のブランド化事業や、栽培実験農場における人材育成事業、収益性のある農産物の実証栽培など6次産業化に向けた取り組みを発表した。

- ・長浜農業高等学校 秋の農産物販売会でのパネル展示等

開催日：2019年11月16日

会場：長浜農業高等学校

内容：研究成果のパネル展示と尾上菜の展示

- ・滋賀県調理短期大学校 料理展示会でのパネル展示等

開催日：2019年11月20日

会場：滋賀県調理短期大学校

内容：尾上菜の実物展示と開発された尾上菜を使った料理レシピパネルの展示



⑥ その他

異常気象による気温変化に起因する害虫被害への対処や、優良系統を作出するために安定的に栽培を行う必要があるため、天候に左右されことなく効率的に実験を継続することが出来る植物工場システムを導入した。

(3) 高付加価値農産物の6次産業化

健康に寄与し需要がある高付加価値農産物の「あおばな」を長浜市内で栽培した。また、技術の向上と機械化一貫体系の確立に向けた調査研究等を地域農業者8者の協力を得て70aの圃場で行い、栽培マニュアルの改定を行った。

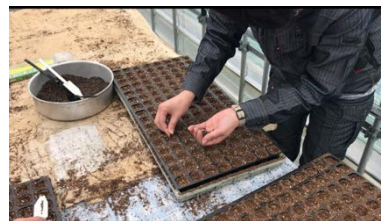
① あおばなの実証栽培

【育苗】

播種 : 3月末～4月上旬

歩留 : 60% (播種10穴に対して定植苗が6株)

引渡 : 4月中旬～5月中旬



【圃場整備】

あおばな及び後作作物の圃場排水対策として地下水位制御システム「FOEAS (フォアス)」を導入した。また、定植のための耕運・畝立はヤンマーアグリジャパンの協力を得て、GPS制御によるトラクター自動運転テストを実施した。



【定植生育管理】

4月末～5月下旬に各農業者において定植を行い、収穫までの生育管理（主に畝間草刈り）を実施。定植時の畝立てマルチ被覆を不備なく行うことで工数はほぼかからない状態であった。



【収 穫】

7月中旬～8月中旬にかけて各農業者の生育状況にあわせ収穫。



【結 果】

施肥基準の統一など栽培方法の統一に関して、マニュアルを活用して実施を徹底したことで、農業者全体で約 1,200kg の収穫量となり、反収は 2018 年度と比較して 123% となった。

(4) 水田野菜のモデル農場の整備及び情報発信

実験圃場の農場長である有限会社湖国農産と JA 北びわこの連携により、水田野菜モデル農場の整備等を行った。

作目	管理者	2019 年									2020 年		
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
キャベツ しょうが 玉ねぎ	JA 北びわこ		5/9 定植		しょうが	8/19 定植	キャベツ	10/29 収穫		11/16 定植 (玉ねぎ) 11/25 定植 (キャベツ)			
										11/28 収穫		玉ねぎ (6 月中旬収穫) キャベツ (5 月収穫)	



栽培収穫作業の様子

(5) ビジネスマッチング

小谷城スマートインターチェンジ周辺の6次産業化拠点整備に向けて、長浜市とともに市内農家や企業の情報収集とビジネスマッチングの実施、周辺地域への理解促進やネットワーク構築を行った。

① 市内農家や企業の情報収集・ビジネスマッチング・周辺地域への理解促進・ネットワーク構築

- ・小谷城スマートインターチェンジ周辺6次産業化拠点整備準備委員会

2019年5月29日、7月16日、10月18日、12月13日の4回

- ・農業者会議

2019年6月27日

- ・地権者説明会

2019年7月29日、8月28日、11月20日、2020年1月20日、2月13日の5回

- ・事業スケジュール協議

2019年6月5日

- ・視察研修

2019年7月10日 株式会社スマートアグリカルチャー磐田を視察

2019年11月13日 京都グレインシステム株式会社、アクアイグニスを視察



② マッチング促進用パネル製作（5種類）



その他事業報告

1. びわ湖環境ビジネスメッセ特設ブース設置によるビジネスマッチング事業

長浜市より新産業創出地域連携事業（研究開発支援・販路開拓支援）業務委託を受け、びわ湖環境ビジネスメッセ 2019 会場内で特設ブースを設置。2019 年度は滋賀バイオ産業推進機構と協働で開催。8 社 2 支援機関が出展した。

(1) 出展企業一覧

出展企業	出展内容
大塚産業クリエイツ株式会社	リサイクル原料を利用したオリジナル製品
株式会社開伸	V パック（梱包装体）
国友工業株式会社	木質バイオマス燃料のペレットストーブ バイオ消臭剤
ツジコー株式会社	健康茶、健康食品・化粧品原料の受託事業
株式会社プロクルー	ドローンスクール、機体の展示・活動動画放映 空撮・高所点検サービス
株式会社宝樹	「愛の水素水」JOY、SUPER JOY の展示 認知症対策の新しいシステム（長浜モデル）の説明・体験
株式会社明豊建設	和のグリーンインテリア「SUNAGOKE Sheet」 琵琶湖の水草で作った微生物有機肥料「湖の恵」
株式会社山正	長浜バイオ大学との共同研究（艾製造時に出る乾燥ヨモギの残渣分析）にて認められた抗インフルエンザウィルス作用を利用した商品
韓国技術ベンチャー財団	財団の紹介及び韓国企業の製品の紹介
長浜バイオインキュベーションセンター ／長浜バイオクラスターネットワーク	長浜バイオインキュベーションセンターの紹介 びわ湖長浜ブループロジェクトの紹介



(2) 結果

メッセ全体来場者数

10 月 16 日（水）	7, 2 8 0 名	
10 月 17 日（木）	9, 2 9 0 名	
10 月 18 日（金）	9, 0 4 0 名	総合計 2 5, 6 1 0 名

来場者数・商談数一覧

出展企業	来場者数	商談数	可能性大	商談成立
大塚産業クリエイツ株式会社	163	16	2	0
株式会社開伸	125	33	6	0
国友工業株式会社	86	5	0	1
ツジコー株式会社	70	1	0	0
株式会社プロクルー	220	90	20	1
株式会社宝樹	75	26	10	1
株式会社明豊建設	101	17	5	0
株式会社山正	60	4	2	0
韓国技術ベンチャー財団	24	6	0	0
長浜バイオインキュベーションセンター／長浜バイオクラスターネットワーク	36	0	0	0
合計	960	198	45	3

昨年度の実績（9社2支援機関の出展で、来場者数 1,552 人、商談 206 件、可能性大 36 件、商談成立 0 件）

2. 長浜アカデミックサポートチーム（NAST）を活用した産学等連携強化事業

（1）長浜アカデミックサポートチーム運営委員会の開催

開催日：2020 年 3 月 4 日（水） 14：30～16：00

会 場：長浜バイオ大学 中会議室

内 容：①NAST 部会活動報告

②ピワマスの研究について

③地域企業との共同研究について

③今後の活動内容及び意見交換

参加者：

[Redacted list of participants]

長浜市

一般社団法人バイオビジネス創出研究会（ABBC）

(2) 長浜アカデミックサポートチーム（NAST）部会の活動

2017 年 3 月に開通した小谷城スマートインターチェンジ（SIC）において、長浜市が進める小谷城 SIC 周辺 6 次産業化拠点構想について検討をすすめる中で、伝統野菜の推進について NAST に協力依頼があった。そこで湖北地域における伝承野菜を発掘しブランド化することにより地域の産業振興、特産品作り、6 次産業化を目指すことを目的とし、NAST 部会を 2017 年に設置した。そして、まずは湖北地域の伝承野菜の中から「尾上菜」と「伊吹大根」のブランディング化を進めている。

2019 年度は、2018 年度に引き続き、長浜バイオ大学が採択された「私立大学研究ブランディング事業」にも位置づけされて研究が進むとともに、長浜市と協働し、関係者との連携促進、試験圃場の整備、普及 PR などのコーディネート支援を実施している。

【NAST 部会 メンバー組織】

長浜バイオ大学／滋賀県立大学／奈良先端科学技術大学院大学／滋賀県立長浜農業高等学校／滋賀県調理短期大学校／一般社団法人ばんば楽楽ファーム／湖北町食事文化研究会／尾上菜生産者（農家）／長浜市／一般社団法人バイオビジネス創出研究会



3. 滋賀バイオプロジェクト創出サロン事業

滋賀バイオ産業推進機構（SBO）および ABBC が協働し、研究開発、産業化に向けた情報交換の場を提供するとともに、プロジェクト構築に向けた取り組みを支援することで、バイオ関連産業の創出・育成を図ることを目的とする。

(1) 運営会議の開催

2019 年度サロン事業の運営方針を決めるため、専門家らの有識者による運営会議を開催した。

日 時：2019 年 11 月 8 日（金）10：00 ～ 11：15

会 場：長浜バイオインキュベーションセンター経営支援室

出席者：



滋賀バイオ産業推進機構（SBO）

一般社団法人バイオビジネス創出研究会（ABBC）

内容まとめ：

2019 年度はより実質的に共同研究や開発が生まれるような土壌づくりとして相談会形式でサロンを運営することになった。企業がどのような課題を抱えているのかを吸い上げ、適任者の紹介し、共同研究や新たなプロジェクト創出を目指し取り組んでいく。

(2) 滋賀バイオプロジェクト創出サロンの実施

2019 年度 第 1 回滋賀バイオプロジェクト創出サロン 相談会

開催日時：2019 年 12 月 3 日（火） 10：00 ～ 11：30

会 場：長浜バイオ大学 中会議室

企 業：株式会社山正

内 容：ヨモギ栽培における課題と艾精製後の残渣活用について

2019 年度 第 2 回滋賀バイオプロジェクト創出サロン 相談会

開催日時：2020 年 2 月 3 日（木） 14：30 ～ 16：00

会 場：長浜バイオインキュベーションセンター経営支援室

企 業：株式会社山正

内 容：第 1 回サロンで運営委員より紹介のあった企業とのマッチング支援

2019 年度 第 3 回滋賀バイオプロジェクト創出サロン 相談会

開催日時：2020 年 2 月 26 日（水） 14：30 ～ 16：00

会 場：長浜バイオ大学 中会議室

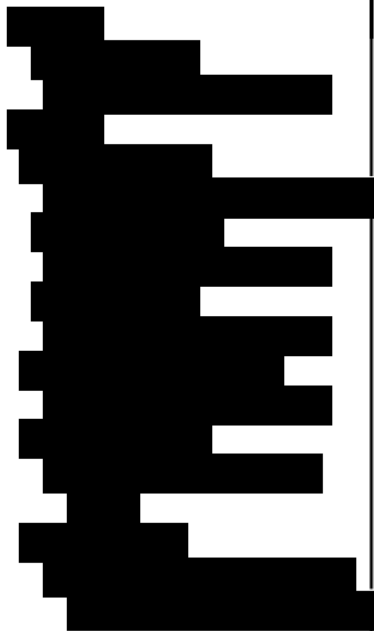
企 業：株式会社ヤマムログループ

内 容：木質バイオマス資源地域再生可能エネルギー利用発電所 燃焼灰の有効活用



2019年度事業一覧表

1. 主催・共催・後援事業

2019 年 4 月 17 日	小谷城スマート IC 栽培実験農場 関係者会議	・ 2019 年度小谷城 SIC 栽培実験 農場の取り組みについて ・ 意見交換	曳山博物館 会議室
長浜市委託事業 「6 次産業化支援 事業」			
2019 年 5 月 19 日	いきいき健康フェスティバル 2019		長浜バイオ大学 NBIC
いきいき健康フェ スティバル			
2019 年 5 月 20 日	バイオビジネス創出研究会・長浜み らい産業プラザ合同総会記念講演会 「ゲノム編集技術による生物改変と それによる農水産物の変化」	蔡 晃植 氏 (長浜バイオ大学 学長)	北ビワコホテル グラツィエ
長浜市委託事業 「新産業創出地域 連携事業」			
2019 年 5 月 29 日	小谷城スマート IC 周辺拠点整備準備 委員会	・ 2019 年度事業スケジュール ・ 2019 年度小谷城スマート IC 周辺 6 次産業化拠点整備事業 について	小谷丁野町自治 会館
長浜市委託事業 「6 次産業化支援 事業」			
2019 年 6 月 28 日	長浜アカデミックサポートチーム 部会	伝承野菜推進部会 活動報告	長浜バイオ大学 大会議室
長浜市委託事業 「6 次産業化支援 事業」			
2019 年 7 月 7 日	小谷城スマート IC 周辺で取り組む 6 次産業化セミナー（共催） 基調講演 ・ 私立大学研究ブランディング事業 を介した地域貢献 事例発表 ・ 小谷城 SIC 栽培実験農場におけ る 6 次産業化の取組 ・ 最先端バイオサイエンスによって解 析された尾上菜と伊吹大根 ・ 植物に含まれる有用物質の高生産に 向けて ・ 尾上菜と伊吹大根のブランド化に向 けた栽培技術の確立～1 年目の挑 戦～ ・ ういず One システムを活用したメ ロン栽培の挑戦と水田の高度利用 化 ・ 高付加価値農産物「あおばな」の 6 次産業化		長浜バイオ大学 大講義室 1
長浜市委託事業 「6 次産業化支援 事業」			

2019 年 7 月 10 日	小谷城スマート IC 周辺拠点整備準備 委員会 視察研修	視察先 株式会社スマートアグリカル チャー磐田	
長浜市委託事業 「6 次産業化支援 事業」			
2019 年 7 月 16 日	NBIC 入居者懇談ランチ会		NBIC
NBIC 入居者懇談会			
2019 年 7 月 16 日	小谷城スマート IC 周辺拠点整備準備 委員会	視察研修報告	小谷丁野町自治 会館
長浜市委託事業 「6 次産業化支援 事業」			
2019 年 8 月 1 日～12 月 31 日	アンテナショップ 「ナンドカナガハマアタラシイ in 長 濱ええもんショップセイキン」	・ Match Leather Works ・ 紡ぎ-kannongirl ・ ふるさと夢公社きのもと ・ おてまいり屋 ・ 長谷健次	長濱ええもんシ ョップセイキン
創業支援事業者等 補助金			
2019 年 8 月 22 日	小谷城スマート IC 栽培実験農場 関係者会議	・ これまでの経過と実績報告 ・ 今後の取り組みについて ・ 意見交換	曳山博物館 会議室
長浜市委託事業 「6 次産業化支援 事業」			
2019 年 9 月 18 日～ 12 月 4 日	実践ながはま・こほく創業塾 第 10 期	2019 年 9 月 18 日～12 月 4 日 全 12 回 開催	長浜市役所
創業支援事業者等 補助金			
2019 年 10 月 1 日～12 月 31 日	アンテナショップ 「ナンドカナガハマアタラシイ in 茶 里夢」	・ 合同法人 TUNAGU ・ セイキン商事 ・ アトリエモルフェ	日本海さかな街 茶里夢
創業支援事業者等 補助金			
2019 年 10 月 6 日	小谷城戦国祭り	小谷城スマート IC 栽培実験農場 関係者出店	小谷城戦国歴史 資料館
長浜市委託事業 「6 次産業化支援 事業」			
2019 年 10 月 16 日～18 日	びわ湖環境ビジネスメッセ特設ブー ス 2019 (びわ湖環境ビジネスメッセ会場で開催) (長浜バイオクラスターネットワー ク・滋賀バイオ産業推進機構で主 催)	《出展》8 社 2 団体 ・ 大塚産業クリエイツ ・ 開伸 ・ 国友工業 ・ ツジコー ・ プロクルー ・ 宝樹 ・ 明豊建設 ・ 山正 ・ 韓国技術ベンチャー財団 ・ 長浜バイオクラスターネットワーク	長浜バイオ大学 ドーム
長浜市委託事業 「新産業創出地域 連携事業（研究開発 支援・販路開拓支援 ）」			

2019 年 10 月 18 日	小谷城スマート IC 周辺拠点整備準備 委員会	・小谷城 SIC 周辺 6 次産業化拠 点整備状況報告 ・視察研修について ・その他	小谷丁野町自治 会館
長浜市委託事業 「6 次産業化支援 事業」			
2019 年 11 月 8 日	滋賀バイオプロジェクト創出サロン 運営委員会	・サロン事業について ・これまでのサロン事業 ・2019 年度サロン事業開催概要 について ・講師候補について ・その他	NBIC 経営支援室
SBO 滋賀バイオプロジ ェクト創出サロン			
2019 年 11 月 13 日	小谷城スマート IC 周辺拠点整備準備 委員会	視察先 京都グレインシステム株式会社	
長浜市委託事業 「6 次産業化支援 事業」			
2019 年 11 月 17 日	連続講座 「地域資源を使って小さな仕事を考 える」	第 1 回 「地域資源・小商いについて学ば う」	Kishida House
創業支援事業者等 補助金			
2019 年 11 月 18 日	クラウドファンディング 実践セミナー&ワークショップ		NBIC 事業支援室
創業支援事業者等 補助金			
2019 年 11 月 24 日	連続講座 「地域資源を使って小さな仕事を考 える」	第 2 回 「身近な実践者から学ぶ」	長浜市内各所
創業支援事業者等 補助金			
2019 年 11 月 28 日	若者向け地域起業家教育 「地域共創プログラム」	開講式 オリエンテーション	長浜ビジネスサ ポートセンター
創業支援事業者等 補助金			
2019 年 12 月 3 日	滋賀バイオプロジェクト創出サロン	第 1 回サロン相談会	長浜バイオ大学 中会議室
SBO 滋賀バイオプロジ ェクト創出サロン			
2019 年 12 月 9 日	クラウドファンディング 実践セミナー&ワークショップ		長浜ビジネスサ ポートセンター
創業支援事業者等 補助金			
2019 年 12 月 15 日	連続講座 「地域資源を使って小さな仕事を考 える」	第 3 回 「小さく始められる自分なりの 仕事を考える」	レンタルスパー ス松橋
創業支援事業者等 補助金			

2019 年 12 月 21 日	若者向け地域起業家教育 「地域共創プログラム」	成果報告会	長浜ビジネスサ ポートセンター
創業支援事業者等 補助金			
2020 年 1 月 29 日	小谷城スマート IC 栽培実験農場 関係者会議	・ 2019 年度事業実績について ・ 2020 年度事業計画案について ・ 意見交換	長浜ビジネスサ ポートセンター
長浜市委託事業 「6 次産業化支援 事業」			
2020 年 2 月 3 日	滋賀バイオプロジェクト創出サロン	第 2 回サロン相談会	NBIC 経営支援室
SBO 滋賀バイオプロジ ェクト創出サロン			
2020 年 2 月 26 日	滋賀バイオプロジェクト創出サロン	第 3 回サロン相談会	長浜バイオ大学 中会議室
SBO 滋賀バイオプロジ ェクト創出サロン			
2020 年 3 月 4 日	長浜アカデミックサポートチーム (NAST) 運営会議	・ 報告 部会報告 ビワマスの研究について 地域企業との共同研究について ・ 今後の活動について	長浜バイオ大学 中会議室
長浜市委託事業 「新産業創出地域連携 事業（研究開発支援・ 販路開拓支援）」			
2020 年 3 月 12 日	アグリビジネス－カフェ 運営委員会	アグリビジネス－カフェの今後 の展開について	NBIC 経営支援室
会員事業			

2. その他

	300 年経営塾	2019 年 5 月 14 日 2019 年 7 月 9 日 2019 年 9 月 17 日 2019 年 11 月 12 日 2020 年 1 月 21 日	北ビワコホテル グラツィエ
300 年経営塾			
	デジタルイノベーション研究会	2019 年 6 月 14 日 2019 年 6 月 27 日 2019 年 9 月 12 日 2019 年 12 月 13 日	長浜バイオ大学
デジタルイノベー ション研究会			
	滋賀 IM ネットワーク会議	2019 年 11 月 18 日	草津 SOHO
滋賀 IM ネットワ ーク			
	長浜サイエンスパーク運営協議会 ・ 長浜バイオ大学 ・ 星野科学(株) ・ イオンディライトアカデミー(株) ・ マルホ(株) ・ 山岡ヤマゼン(株) ・ サイヤファーマ(株) ・ マリンフード(株) ・ 長浜バイオインキュベーションセンター	2019 年 7 月 8 日 2019 年 10 月 3 日 (除草作業) 2019 年 12 月 12 日	長浜バイオ大学 長浜ビジネスサ ポートセンター
長浜サイエンスパ ーク運営協議会			



一般社団法人バイオビジネス創出研究会
〒526-0829 滋賀県長浜市田村町1281-8
(長浜バイオインキュベーションセンター内)
電話 0749-65-8808 FAX 0749-65-8858
URL : <http://biobiz.jp/>
E-mail : info@biobiz.jp

第 1 号議案

一般社団法人バイオビジネス創出研究会 2020年度事業報告

2020年度 ABBC 経営・運営概況報告

コロナ対応を最優先の課題として、長浜市の指導を仰ぎながら ABBC の 2020 年度の事業計画に基づき、各種事業を進めてきた。

指定管理事業は、長浜バイオインキュベーションセンター（NBIC）の指定管理者としての 3 期目（平成 28 年度から令和 2 年度までの 5 年間）の最終年度、通算 15 年目となり、入居料・指定管理料を主たる収入源として、長浜市と締結したセンターの管理に関する協定書に基づいて、入居企業の支援を柱とした管理運営にかかる事業業務を行っている。空き室活用の観点から自主事業として 9 号室のシェアオフィスに加え、2020 年度からは 11 号室をチャレンジルーム（植物工場）としてその運営も始めた。これらは箕浦インキュベーションマネージャー（IM）を中心に全員で遂行している。

会費事業は、会費を主たる収入源として運営しており、滋賀バイオ産業推進機構（SBO）と連携して、バイオビジネスにかかる情報提供、セミナー開催・マッチング事業への参加呼びかけのみならず会員個別の創業・事業化の相談・支援にも応じている。会員企業、会員のために 300 年経営塾やデジタルイノベーション研究会の事務局も受け持っている。2020 年度はコロナの影響で行事等は大幅に縮小せざるを得なくなった。会員の事業業務は箕浦 IM と相談役が中心に担当して行っている。

創業支援事業は、バイオビジネスだけでなくソーシャル、コミュニティビジネスを含む創業支援に関して、本年度も長浜市より新産業創出地域連携事業が委託され、長浜市の政策（産業振興ビジョン・創業支援等事業計画）具現化のために創業支援事業者として、商工会議所・商工会と連携しつつ創業塾や個別支援等の各種事業を加藤地域事業化プロデューサーが中心に行っている。これらの起業家育成のための事業、ノウハウは 2019 年 12 月にオープンされた長浜ビジネスサポートセンターの核機能に位置づけられている。更なるビジネスサポートセンターのソフト機能構築のため、長浜ビジネスサポート協議会との協働を引き続き推し進めた。

2020 年度も小谷城スマートインターチェンジ（SIC）関連事業として、「6 次産業化人材育成・ブランド化推進事業支援業務」を長浜市から委託を受け、人材育成、高付加価値農産物の実証栽培、地域伝承野菜のブランド化推進、ビジネスマッチングなどの業務を JA 北びわこ、長浜バイオ大学と連携しつつ推し進めている。これらの事業は箕浦 IM が中心に行っている。

さらに今年度から湖北地域における農産品の活用促進のため「長浜市農林水産資源活用・流通拡大促進事業」が委託され、地域商社機能（商品開発・商品力強化・販路開拓等）の構築のため、初年度は農業者と道の駅・直売所との関係調査などを実施してきた。3 年継続予定のこの事業は加藤地域事業化プロデューサーを中心に行っている。

その他の受託事業として、長浜アカデミックサポートチーム（NAST）事業、販路開拓支援事業、滋賀県関連の SBO からの SBO サロン事業は、2020 年も継続して委託されコロナで少し変更、縮小されたものの、それぞれの事業業務は箕浦 IM とシニアアドバイザーが中心に遂行した。

各事業は一覧表にまとめたが、コロナ対応のため、総会を書面審議としたり、リモート会議を取り入れたり、事業の内容変更などで乗り切った。

会員事業報告

長浜バイオ大学の誘致を契機に地域企業が核となって設立された当会は「滋賀の地に産官学連携によるバイオクラスターを形成」というビジョンを掲げた。長浜サイエンスパークには、長浜バイオ大学、長浜バイオインキュベーションセンター（NBIC）がコア施設として立地され、バイオ関連 6 社の企業も進出している。当会が平成 18 年度より長浜市の指定管理者として運営する NBIC も延べ 41 社の事業支援をおこなってきており、長浜の地に産官学連携によるバイオクラスターが小さいながらも形成され、ビジョンの具現化が図れてきた。

2021 年 3 月現在の会員数は、企業 17 社、個人会員 9 名、その他 54 社名である。2020 年度は総会で承認された事業計画に基づき会員事業として情報提供事業、研修会・講習会の開催事業、創業・事業化支援事業、マッチング機会創出事業等を実施予定であったが、ほとんどが新型コロナウイルス感染防止対策のため中止となり、限られた事業の展開となった。

また、シェアオフィス（openjoynt）とチャレンジルームをインキュベーションセンター内に設けており、IM・地域事業化プロデューサー両名の支援を柱に展開しており、会員にも利用を呼びかけている。

会員に対しては主催、共催事業、クラスターネットワーク事業、滋賀バイオ産業推進機構（SBO）事業、IM ネットワーク事業の案内や情報を提供している。企業会員は 2020 年度も SBO 会員に登録されており、SBO から情報提供がなされている。しかしながら、こちらも同様に限られた事業の案内となった。

企業会員、個人会員への事業支援・相談窓口としては IM および地域事業化プロデューサーが担当している。

また、地域において、第 2 創業に挑戦する企業を育てるために 300 年経営塾が代表・顧問理事の主宰で 2 ヶ月に一度開催されており、NBIC の PR を兼ね、本年度も入会し事務局を受け持っている。さらに、藤田義嗣副代表理事が会長を務められ、若林浩文理事が副会長を務められている『デジタルイノベーション研究会』の事務局も受け持たせていただき、AI やビッグデータ、IoT といった今後のキーテクノロジーとなるテーマを取り上げ、セミナーや勉強会を開催している。こちらに関しても、例年に比べ開催回数が減少した。

バイオビジネス創出研究会 2020年度 会員数推移

種別	期首	増	減	3月31日現在
企業	17	0	0	17
個人	9	0	0	9
アカデミック	26	0	0	26
学生	0	1	0	1
賛助	18	0	0	18
BI特別	10	0	1	9
合計	80	1	1	80

指定管理業務報告

◆2020 年度入居状況

2020 年の度入居状況は 4 月当初は 17 室中 13 室入居（1 室はシェアオフィス）からスタートした。5 月より空き室利用の新たな試みとして、中小企業等の新規事業参入を後押しすることを目的に、水耕栽培装置を完備したチャレンジルームを設置。10 月には新型コロナウイルス感染拡大に伴う、デジタル化の促進によりジーワン株式会社が 1 室増室された。12 月末に株式会社宝樹が一定事業成果を達成し卒業された。

2020 年度の採算分岐点は 13 室とみていたが、通年で 12.25 室と採算分岐点を若干下回る形となった。シェアオフィスについては、4 月は 5 者利用でスタートし、10 月から新たに 1 名申し込みがあり満室となったが、3 月末で 1 室が退去となった。チャレンジルームは 5 月から長浜バイオ大学が地域伝承野菜の最適栽培方法確立のために利用している。

◆センター運営事業

指定管理者としてセンター運営事業の目的は、入居企業や地域企業に対するバイオ関連分野を主とした創業・事業化支援による地域産業の活性化と雇用の創出にあり、以下の事業を行っている。

センター運営事業の柱である入居企業、相談に来られる地域企業への支援は IM と地域事業化プロデューサーが担当している。入居企業の課題は IM が把握しており要望に応じて対処している。地域企業に対する第 2 創業、新事業化支援については、企業からの相談の他に、先進事例のセミナー開催や、勉強会の開催等を行いながらアプローチをしてきた。

シェアオフィス（openjoynt）については、メインステージ（次期入居企業候補）及び市内に新たな企業を輩出することを目指し、空き室を利用し、2020 年度も引き続き設置した。

チャレンジルームについては、農業の見直しや食糧需給問題等に注目し、中小企業等が新規事業参入をする際に、初期投資を抑え挑戦できるように、完全室内水耕栽培が可能な植物工場を設置した研究室として、空き室利用の新たな試みとして設置した。

◆センター管理業務

長浜市と締結した協定書の仕様書に準拠して施設の維持管理業務や入居料の集金などの経理業務を日常行っている。加えて入居者懇談会の開催、長浜サイエンスパーク（長浜バイオ大学、進出企業 6 社、ABBC）運営協議会事務局などの業務に箕浦 IM（OM 兼務）、2 名の職員（OM 補佐）が対応している。

◆センター運営体制

代表理事、顧問理事、専務理事（事務局長 兼 統括マネージャー）、相談役、IM(OM 兼務)お

よび地域事業化プロデューサー、OM 補佐 2 名で隔週定例経営会議を開催。これを受けて専務理事の下、シニアアドバイザーも出席し、具体事業、具体業務を進める体制を取っており、事務局の内部協議を隔週で行っている。

長浜市とは専務理事、IM、地域事業化プロデューサーが出席して報告会議を必要に応じて開催し、IM、プロデューサーの活動報告を行い、運営について指導・助言を受けている。

長浜バイオインキュベーションセンター入居企業一覧

2021 年 3 月

部屋 番号	入居者名	代表者	事業内容
1	株式会社フィジカル		健康、美容商品の企画開発
2	http://www.biwako.ne.jp/~physical		顔ダニ製品の新規開発、販売
3	株式会社山正 http://www.moxa.net/		艾製造に伴うヨモギ残渣を活用した健康食品 関連開発及び「伊吹文」のブランド化。 独自ヨモギ栽培技術の確立等。
4	株式会社プロクルー		1 次産業向け IoT やドローンを活用した生産 管理システムの開発など IoT や AI を取り入 れた新たなビジネスモデルの創出
5	http://e-ohmi.net/		
6	株式会社ワンセル http://www.onecell.co.jp		組織再生と体質改善を促す機能性分子を含む 商品群の開発・製造・販売
7	長浜バイオ大学 http://www.nagahama-i-bio.ac.jp		7-1 ・細胞用フィルターの開発 ・新規医療用接着剤の開発
			7-2 ・ポリ ADP-リボシル化の阻害材開発 ・「バイオ実験夢チャレンジ」
			7-3 ・プライミング病害抵抗性を付与する化合物の開発 ・ゲノム編集研究所
8	株式会社フロンティアファーマ http://frontierpharma.jp		分子標的抗がん剤の創薬、創薬・診断薬の新 規基盤技術の開発
9	シェアオフィス openjoynt		創業希望者、新規事業化支援希望者、第 2 創 業希望者のビジネスインキュベーション室と して利用。また、ソーシャルビジネス、コミ ュニティビジネス支援希望者も含む。
10	株式会社バイオセラピーメディカル http://www.btmcl.com		難治性創傷治療用ウジ事業及び有効成分の研 究事業
11	チャレンジルーム		植物工場を使った研究開発、新事業への取り 組みを後押しするチャレンジルーム。フレキ シブル植物工場システムを 3 基設置。
12	ジーワン株式会社		リップルシステム通信技術を用いた心不全及 び認知症患者等の健康管理用ウェアラブル機 器の開発等
16	http://www.g-1.ne.jp		
13			
14			
15	ジーズアップ株式会社 http://gs-up.co.jp/	染毛剤、化粧品の開発	
17			

研究室数の総数 17 室

入居者数 8 社、長浜バイオ大学、シェアオフィス、チャレンジルーム（14 室）

長浜バイオインキュベーションセンター 入居企業推移

●2020年4月の入居者一覧

部屋番号	企業名
1	株式会社フィジカル
2	
3	
4	株式会社プロクルー
5	
6	株式会社ワンセル
7	長浜バイオ大学
8	株式会社フロンティアファーマ
9	シェアオフィス
10	株式会社バイオセラピーメディカル
11	
12	ジーワン株式会社
13	
14	株式会社山正
15	ジーズアップ株式会社
16	
17	株式会社宝樹



●2021年3月の入居者一覧

部屋番号	企業名
1	株式会社フィジカル
2	
3	株式会社山正
4	株式会社プロクルー
5	
6	株式会社ワンセル
7	長浜バイオ大学
8	株式会社フロンティアファーマ
9	シェアオフィス
10	株式会社バイオセラピーメディカル
11	チャレンジルーム
12	ジーワン株式会社
13	
14	
15	ジーズアップ株式会社
16	ジーワン株式会社
17	

●2020年4月以降 入居企業等

	企業名	入居日
1	チャレンジルーム	2020/5/1
2	ジーワン株式会社16号室	2020/10/1
3	株式会社山正 (14号室→3号室へ移動)	2021/3/1

●2020年4月以降 卒業企業

	企業名	卒業日
1	株式会社宝樹	2020/12/31

シェアオフィス利用者一覧

2021 年 3 月

部屋	利用者名	事業内容
1	合同会社バスクロンジェニックス	生体サンプルからの核酸抽出と遺伝子解析の受託 およびその情報を基にした治療薬・診断薬の開発
2	村上デザイン事務所	WEB サイトの制作・運営
3	Up-grade	経営コンサルティング
4	株式会社 Next realize	外国人向け各種サービス事業（コンシェルジュ・旅行・人材紹介）
5	日本コンサルティング総合研究所株式会社	ファイナンシャルプランナー事業
6	一般社団法人スイビー (3 月末日で退去)	オープンウォータースイムレースの運営、障害児水泳教室の企画運営、障害児を対象とした放課後等デイサービス開業準備

チャレンジルーム利用者

2021 年 3 月

利用者名	利用目的
長浜バイオ大学	尾上菜の最適栽培方法の確立および優良系統の確立

創業支援関連事業報告

長浜市創業支援事業計画に基づいて、長浜ビジネスサポート協議会と協働で、地域の起業家予備軍に対して、起業意識の醸成からテストマーケティング、成長支援までの一貫した支援を実施した。

1. 創業・起業・新事業者発掘事業

(1) 創業塾

2014 年度からスタートした創業塾は、2020 年度で 7 年目を迎えた。創業に必要な知識手法の習得（経営・財務・人材育成・販路開拓）の機会を実践的なワークショップ形式を中心に提供した。

【第 11 期】

実施期間：2020 年 9 月 8 日 ～ 11 月 18 日

場所：長浜ビジネスサポートセンター

受講者：45 名

修了者：35 名



(2) 創業支援情報提供ウェブサイトの運営

長浜市で新しいことにチャレンジする人を紹介するサイト「ナンドカナガハマアタラシイ」を運営した。



2. 事業支援室運営事業

(1) 専門家による個別支援

地域事業化プロデューサーを配置しハンズオン支援を提供した。

実施期間： 2020年4月～2021年3月

対応件数： 226件 支援対象者数： 211名

(2) 専門家によるハンズオン支援の下での支援対象者への販路開拓支援

支援対象者の商品サービスがより速く顧客対象からの評価を得られるよう販路開拓支援を実施した。2020年度はコロナ禍への対応としてネットを活用したプレスリリースにより支援対象の広報をサポートするテストを実施した。

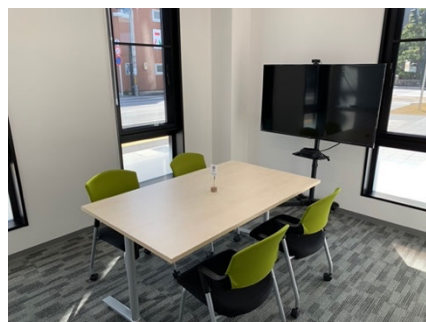


< ネットを通じたプレスリリース・広告効果概要 >

(3) コワーキングスペース

長浜で起業や新事業に挑戦する人が使用できる長浜ビジネスサポートセンター内のコワーキングスペース「長浜ビジネスフューチャールーム（略称 NBFR（ナビフル））」の運営支援。

新型コロナウイルスの影響により需要が増えたオンライン会議やセミナーに対応できる備品を整備した。

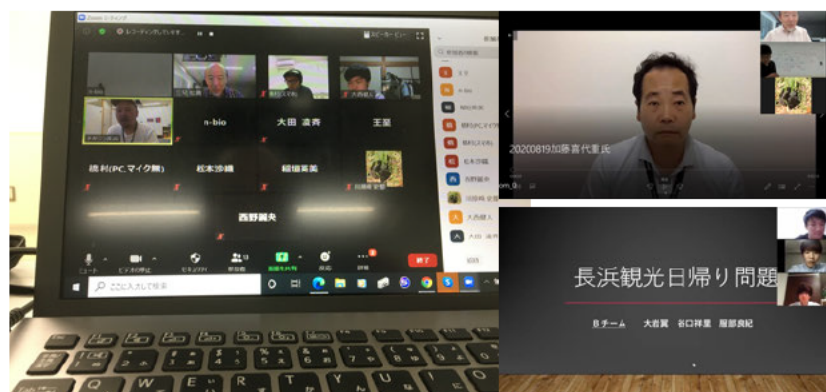


3. 起業家教育事業

(1) 若者向け起業家教育及び地域資源活用型起業家教育

大学生をはじめとした若者への「地域における挑戦機会の発信と継続的接点創出」を目指し、人口当たり大学生数の多い滋賀県の特性を生かしつつ、学生を中心とした若者（創業無関心者）を対象として長浜バイオ大学・立命館大学と連携し情報発信を実施した。

【実施日】	【連携先】	【内容】	【受講者】
8月14日	長浜バイオ大学	おうみ学生未来塾	6名
8月19日	立命館大学	地域資源を活用した長浜観光活性化	35名
12月9日	立命館大学	滋賀のインキュベーション	70名



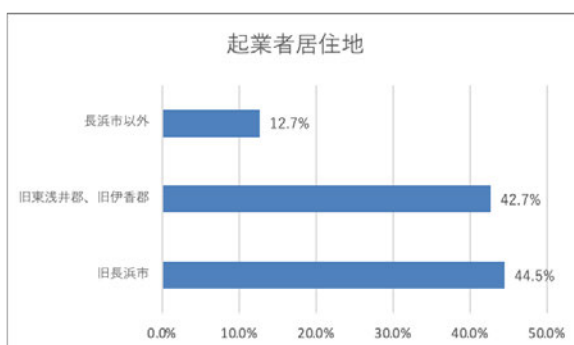
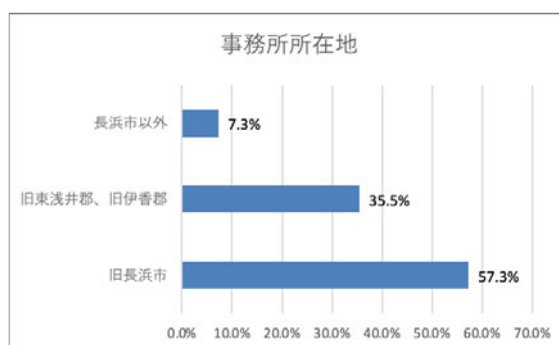
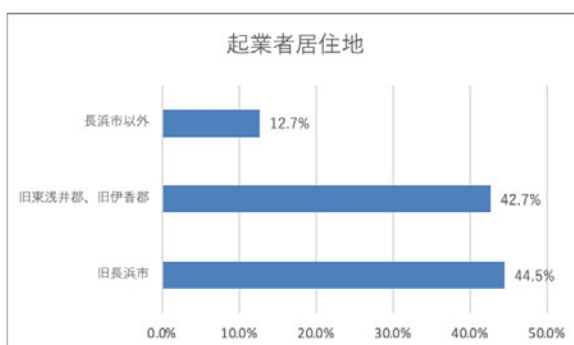
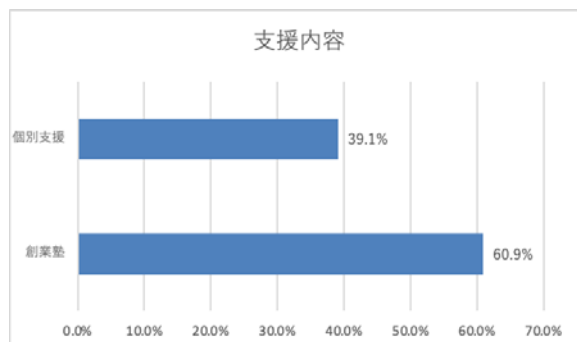
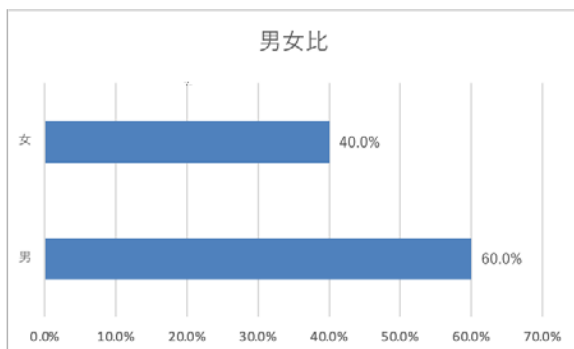
<オンライン講義・ワークショップの様子>

4. まとめ

(1) 起業件数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	合計
起業件数	11	13	16	15	14	20	21	110
内訳								
創業塾	8	9	11	12	7	12	8	67
個別支援	3	4	5	3	7	8	13	43

(2) 起業者動向



(3) 今後の取り組み

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大により開催そのものが危ぶまれるプログラムもあったが、状況の変化に合わせた感染拡大防止対策を徹底した上で実施することができた。また、起業者の動態からコロナ禍をピンチではなくチャンスと捉えた起業、兼業・副業による起業など社会の動向に合わせた変化が現れてきている。

今後はウィズ・アフターコロナの状況を見据えつつ、新たな挑戦に取り組む起業者に対して、地域支援機関の連携を「長浜ビジネスサポートセンター」を中心に更に密にし、新しい状況に合わせた支援プログラムを起業者とともに考え試行することで「起業者に選ばれる」体制づくりを進めていく。

6次産業化人材育成・ブランド化推進事業支援業務報告

1. 概要

小谷城スマート IC に隣接する「小谷城スマート IC 栽培実験農場」等で、産学官が連携し、6次産業化を支える人材育成や地域伝承野菜のブランド化を推進する事業を行うとともに、収益性のある農業経営のモデルづくりなど新たなアグリビジネスを推進する事業の実証及び調査研究、情報発信を行う。

また、小谷城スマート IC 周辺の6次産業化拠点整備に向け、市内農家や企業の情報収集とビジネスマッチングの実施並びに周辺地域への理解促進やネットワーク構築を行う。

2. 実施内容

(1) 施設園芸による地域農業の振興

JA 北びわこ等と連携し、ビニールハウスを使った施設園芸による就農実習を行い、実習成果を活かして営農活動を行う人材を育成するために、JA 北びわこが推奨する少量培土栽培装置「ういず One」を活用し「ながはまスマート園芸チャレンジ事業」を実施した。

当事業の実習生は、2018 年度から当該農場で少量培土栽培装置「ういず One」を活用した栽培を行っており、2020 年度はメロンとミニトマトを栽培した。メロンの栽培は2年目、ミニトマトの栽培は3年目となる。

また、今年度は、規格外品の活用方法を検討するため、浅井三姉妹の郷と連携しジェラートの試作開発の実施、小谷城スマート IC 実験農場での取組 PR 及び農業に対する関心を深めてもらう目的で収穫体験会も実施した。

【実習場所】

栽培実験農場内実習生用ビニールハウス（約 140 m² × 2 棟）

【栽培品目・スケジュール】

作目	管理者	2020 年									2021 年		
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
メロン ミニトマト	実習生 2 名	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
メロン ミニトマト   定植 収穫													

【栽培結果】

メロン：長浜市内の道の駅・直売所4カ所に264個出荷。規格外品60個はジェラート加工用として活用した。

ミニトマト：収穫量は1100kgを超え、市場に916kg、長浜市内の道の駅・直売所2カ所に合計約200kg出荷した。



メロン苗定植作業



直売店でのメロン販売



ミニトマト定植作業



実ったミニトマト

【規格外品の活用】

道の駅浅井三姉妹の郷のジェラート製造機を活用して、ジェラートの試作品開発を行った。長浜市内パティシエによるジェラートのレシピ開発及び実習生と浅井三姉妹の郷職員へのジェラート製造指導を実施した。

メロンジェラートは、11月7日～23日の期間限定で販売も行い、製造した73食分全て完売した。



ジェラート製造指導



メロンジェラート完成品



ミニトマトジェラート試作

【PR 活動】

小谷城スマート IC 実験農場の取組みの PR 及び農業に対する関心を深めてもらう目的で、長浜市内の小学生を対象とした収穫体験会を実施した。

実施日：7月19日（メロン）、11月3日（ミニトマト、キャベツ）

場 所：小谷城スマート IC 実験農場

参加人数：12組24人（メロン）、11組24人（ミニトマト、キャベツ）



メロン収穫体験



ミニトマト収穫体験

【実習の成果】

2018年からスタートした「ながはまスマート園芸チャレンジ事業」では、「ういず One」を活用したミニトマトとメロンの栽培実習を実施した。3年を通じた実習において、実習生の栽培技術は向上し、栽培データの蓄積、収量のアップなど、人材育成事業としての一定の成果を得ることができた。

また、2020年度は販売することのできない規格外品の活用として、ジェラートを試作し、メロンジェラートは販売も行った。農業の収益を安定させるためには、規格外品の活用が必要であり、今後も加工品開発等を行う予定である。

（2）地域伝承野菜「尾上菜」のブランド化推進

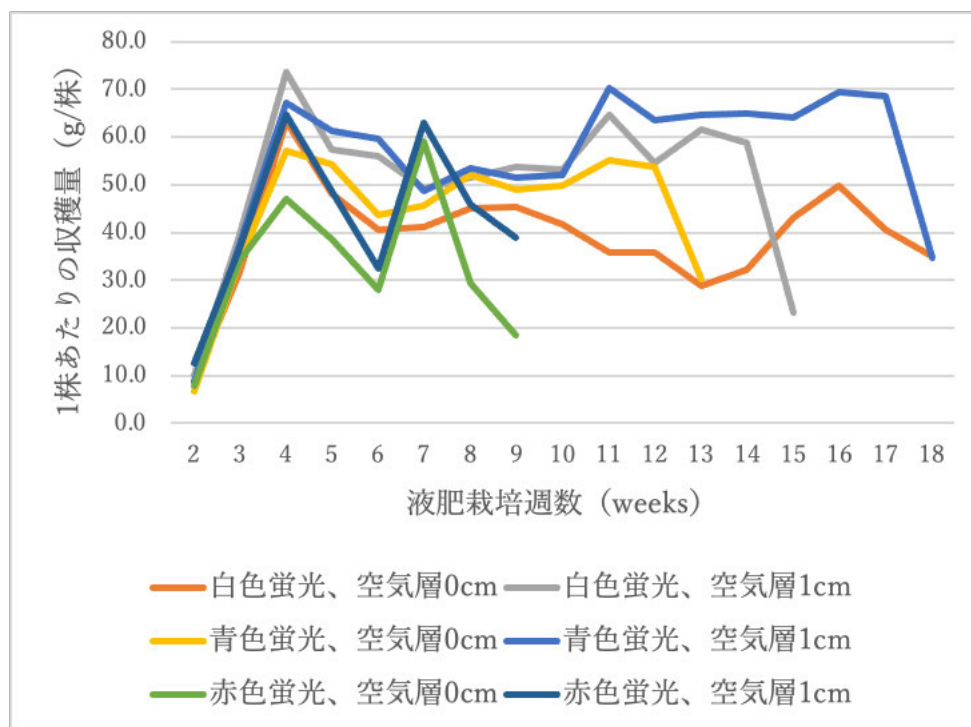
長浜バイオ大学、長浜農業高等学校、滋賀県調理短期大学校、長浜アカデミックサポートチーム等と連携し、地域伝承野菜（尾上菜等）の優良系統の採取ならびに栽培マニュアルの作成、素材を活かした新商品の開発や食文化・調理法の継承によって、ブランド化を推進した。

① 尾上菜等の優良種の作成・栽培・収穫および採種

2020年度はこれまでに作出してきた優良系統の候補の種子を利用し、水耕栽培装置を活用した最適栽培条件の確立の検証を行った。

水耕栽培装置での栽培は、露地栽培に比べると成長速度が速く、品質が一定の尾上菜を収穫することができた。また、液肥を調整することにより、多少の栄養成分の調整が可能である。しかし、シュウ酸成分を減らす実験においては、植物体そのものの成長が阻害されてしまっ

たことから、シュウ酸を減少させる栽培方法の確立については課題が残った。



水耕栽培装置によって栽培した尾上菜 1 株あたりの週間収穫量

② 栽培マニュアルの作成

滋賀県立長浜農業高等学校農業科食農新興分野 2 年生、3 年生を中心に、校内の圃場にて、長浜バイオ大学から作出された優良系統 4 系統を播種。栽培を行いながら、各系統の形態的特徴の調査及びホモ系統とヘテロ系統の比較調査を行い、作付計画表を作成した。

【事前学習】

尾上菜のことを学習するため、長浜バイオ大学や長浜市に講座を開いていただき、尾上菜についての理解を深めた。9 月 15 日と 9 月 29 日の 2 回実施した。



・9月1日	畝立て
・9月28日	セルトレイに播種、 ハウスで育苗開始
・10月1日	発芽
・10月26日	圃場に定植
・12月23日	生育調査
・1月6日	生育調査
・1月26日	生育調査



播種の様子

尾上菜 1 系統から 4 系統を栽培した結果、尾上菜 2 系統はトライコーム（葉の毛）が無く、葉が大きい優良系統であることがわかった。また、尾上菜 1 系統・2 系統（ヘテロ）と尾上菜 3 系統・4 系統（ホモ）を比べると、ホモ系統の方が全体的に小さいことが判明した。

③ 新レシピの開発

滋賀県立調理短期大学校にて、水耕栽培装置で栽培した尾上菜を使ったレシピ開発を行い、19 品目もレシピを完成した。また、11 月 11 日に開催された同校の料理展示会では、尾上菜を使った料理を創作するという課題が出され、19 人に学生がそれぞれ尾上菜を使った料理を創作し展示した。展示会当日は、尾上菜クッキーも販売され、70 食全てが完売となった。長浜市のホームページでは尾上菜の調理方法動画を公開している。

[illegible]

開発したレシピの一例



料理展示会の様子



尾上菜クッキー



調理方法動画

④ 素材を生かした商品、加工品開発および関係者機関とのネットワーク構築

今年度は湖北みずどりステーションの惣菜販売を行っているおふくろ亭や尾上温泉紅鮎等と情報交換を実施した。紅鮎では湖北地域で栽培されている尾上菜を試験的に取り入れ、提供を開始している。2020年度は安定的な尾上菜の確保ができず、期間限定となったが、今後、水耕栽培で収穫した尾上菜を使って、保存の効く商品開発を開始していく予定である。また、尾上自治会内にある未来委員会（地域資源の活用、地域活性化等に取り組む尾上自治会内組織）との情報交換も実施しており、2021年度F1品種の栽培等で連携していく予定である。

(3) 高付加価値農産物「しょうが」の実証栽培

JA北びわこ等と連携し、実需があり、健康につながる高付加価値野菜「しょうが」の実証栽培並びに「しょうが」栽培の省力化に向け、機械化一貫体系を確立するための調査研究を実施した。

【栽培スケジュール】 栽培面積：3a / 定植数：800株

作 目	栽培者	2020 年										2021 年		
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
しょうが	湖国農産											 定植  収穫		

● 定植
■ 収穫

【定植生育管理】

4月30日に機械による畝立て、定植を行った。しょうがの定植用の機械は無いため、じゃがいも用の定植機を活用して実験を行ったが、種しょうがの形が歪で、じゃがいも用定植機では、適切な向きで定植ができずに、発芽の遅れや肥大しないなど生育に悪影響が生じてしまった。



機械による畝立て



機械による定植

【収 穫】

11月19日、20日に収穫を行った。しょうが用収穫機は1条刈り専用のため、2条植をしていた今季は使うことができなかったが、収穫作業の省力化は可能であると考えられる。



収穫作業



収穫したしょうが

【今後の取組】

長浜市内の生産者に対し機械の情報提供を行うとともに、生産者単独での機械購入は難しいため、複数の生産者が機械を共用できるような仕組みの提案などを行なっていきたい。

(4) 水田を活用した野菜の生産振興

JA 北びわこ等と連携し、キャベツの1年2作の生産技術の確立と実証栽培を行い、収益性がある新たな農業経営モデルの情報発信を行う。

【栽培スケジュール】

作 目	栽培者	2020 年										2021 年		
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
キャベツ	湖国農産	11 月定植												
玉ねぎ		11 月定植												

定植

収穫

7 月収穫予定

【キャベツ栽培】

- ① 春採りキャベツ（品種：さつき王、さつき女王 / 面積：25a / 出荷量：5.8 トン）

加工用キャベツの供給量が少なくなる4月～6月（端境期）の需要に応える作型に挑戦した。

栽培した結果、生育にばらつきが生じ手作業の収穫となってしまう、想定以上の労力が
必要となった。手作業の収穫の場合は、家族経営農家であれば 10a～20a が限界である
と思われる。

収穫したキャベツは青果として市場出荷し、買取価格は高かったため加工用にはもった
いなく、また春採りキャベツは巻がゆるく軽いため、重量で金額が決まる加工用として
の出荷には向かない。需要はあるが、「さつき王」・「さつき女王」は4月～6月が収穫期
のため、長浜市の水稻中心の農家への普及は難しいと思われる。



收穫作業



収穫したキャベツ

- ② 秋冬採りキャベツ（品種：スイリョク、スイセイ / 面積：44a / 収量：14.6トン）

JA 北びわこ管内の農家に対して、新たに栽培を推奨していきたい品種「スイリヨク」と「スイセイ」を試験栽培した。

「スイリョク」は玉割れしにくく機械収穫に高い適正があり、収穫適期が長い。また玉揃いがよく収量も多かったことから農家に推奨できる有望品種であることが確認できた。

「スイセイ」は「スイリョク」には劣るが玉割れしにくく、また収穫適期が長く、収量

も多かったことから、現行品種である「初恋」に代わる品種として有望である。



定植作業



収穫体験会の様子

【タマネギ栽培】（品種：ターザン、もみじ3号 / 面積：17.4a / 収量：6.7トン）

キャベツータマネギの1年2作体系の栽培技術の確立と冷涼なJA北びわこ管内でのタマネギの実証栽培を実施した。

中生種である「ターザン」の収量は、反収3,859キロ（管内平均3,216キロ）と管内で2番目の収量となった。肥大した良質のタマネギが育った要因の一つは、昨年度導入した「地下水位制御システム FOEAS（フォアス）」によるものと思われる、水田における栽培には水管理が重要である。現在「もみじ3号」（晩生品種）の実証栽培中であり、7月上旬に収穫予定である。



圃場の様子



収穫作業

（5）スマート農業の調査研究

JA全農しが、JA北びわこ、農機メーカーと連携し、「スマート農業実演会」を開催した。当初は、年4回の実施予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、1回の開催となった。

- ・開催日時：10月30日（金）13：30～15：30
- ・開催場所：余呉町池原の圃場
- ・開催内容：傾斜のある畔畔の除草作業で力を発揮する「ラジコン草刈機」5機種の紹介と実演
- ・参加者：農業関係者約40名
- ・実演機種：ACR-500（北陸近畿クボタ）AJK600（山陽機器）smamoRS400-2（ササキコーポレーション）、神刈（アテックス）、WM510RC（ハスクバーナ）



案内チラシ



実演会の様子

(6) ビジネスマッチング

小谷城スマート IC 周辺の6次産業化拠点整備に向けて、長浜市とともに市内農家や企業の情報収集とビジネスマッチングの実施、周辺地域への理解促進やネットワーク構築を行った。

- ・小谷城スマート IC 周辺 6 次産業化拠点整備準備委員会の開催

2020 年 6 月 25 日、2021 年 1 月 21 日の 2 回開催

- ・視察研修

2020 年 11 月 17 日 京都グレインシステム奈良工場を視察



6 次産業化拠点整備準備委員会の様子



視察研究の様子

長浜市農林水産資源活用・流通拡大促進事業報告

1. 概要・目的

長浜市の農山漁村に存在する農林水産資源(生産物、体験事業等)の経済的な利用を促進することや、商品開発・商品力強化や販路開拓等への持続的な支援体制を構築することにより、長浜市の1～3次産業従事者の所得向上及び若い従事者の増加を図ること、並びに交流人口や関係人口の創出を図ることを目的とする。

2. 農林水産資源(生産物、体験事業等)及び人材の発掘等

(1) 地域資源や利用商品・体験メニューの現状把握と掘り起こし

市内直売所・道の駅の出荷者を中心とした生産者に対してヒアリング調査を実施した。

・ヒアリング実施件数 : 65 者(社) 184 品目

・品目数内訳

① 野菜・きのこ 合計 84 件

品目	件数	品目	件数	品目	件数	品目	件数
トマト	9	玉ねぎ	6	ブロッコリー	6	サツマイモ	5
キャベツ	4	里芋	3	白ネギ	3	マコモダケ	3
マンジェリコン	3	ミニトマト	3	キュウリ	2	ごぼう	2
コンニャクイモ	2	すいおう	2	唐辛子	2	人参	2
白菜	2	ヤーコン	2	しいたけ	2	ほうれん草	1
オクラ	1	カボチャ	1	菊芋	1	空芯菜	1
クレソン	1	ケール	1	サフラン	1	自然薯	1
ジャガイモ	1	大根	1	トウモロコシ	1	ナス	1
ねばり芋	1	平豆	1	青パパイヤ	1	アレッタ	1
生姜	1	赤ジソ	1	その他	2		



<ミニトマト>



<自然薯>



<真菰だけ>



<きゅうり>

② 米・麦・大豆など 合計 62 件

品目	件数	品目	件数	品目	件数	品目	件数
米	32	大豆	13	大麦	6	麦	6
ライ麦	2	小豆	1	蕎麦	1	もち米	1



<大豆>



<小豆>



<ライ麦>

③ 果実・果樹 合計 16 件

品目	件数	品目	件数	品目	件数	品目	件数
イチゴ	7	ぶどう	2	メロン	2	柿	2
スイカ	1	イチジク	1	ナシ	1		



<ハウス栽培の柿>



<ぶどう>



<湖北のいちご>

④ 肉・魚 合計 8 件

品目	件数	品目	件数	品目	件数	品目	件数
小鮎	2	スジエビ	1	ニゴロブナ	1	ビワマス	1
ホンモロコ	1	近江しゃも	1	その他(鹿等)	1		



<ビワマス>



<スジエビ佃煮>



<小鮎>

⑤ 花・苗 合計 7 件

品目	件数	品目	件数	品目	件数	品目	件数
野菜苗	2	花苗	1	ストック	1	トルコギキョウ	1
小菊・葉ばたん	1	カモミール	1				



<花苗>



<カモミール>



<野菜苗>

⑥ 加工品 合計 6 件

品目	件数	品目	件数	品目	件数	品目	件数
戦国いなり	1	ちらしいなり	1	こだかみ茶	1	お米のパウムクーヘン	1
その他	2						



<戦国いなり>



<こだかみ茶>



<お米のパウムクーヘン>

⑦ 体験 合計 1 件

品目	件数
カヌー体験	1

(2) 売り先や売り方の検討支援

① 市内直売所・道の駅における市内産農林水産物取扱状況調査

長浜市内の直売所及び道の駅の協力のもと、長浜市産の農林水産物取扱状況の調査を実施した。

- ・協力直売所・道の駅数：6 拠点
- ・出荷者数：866 者（社）

② 集客につながる名物開発支援

現状をふまえ、農産物の個性を生かした商品開発の支援を実施した。

【こだかみ茶ジェラートの開発】

- ・ 事業者：ふるさと夢公社きのもと（木之本町）
- ・ 内 容：木之本町古橋地区の希少な在来種のお茶を使用した名物開発。
道の駅「浅井三姉妹の郷」設備を活用（シェアキッチン機能の試行）し実施。
新型コロナ感染状況改善に合わせ2021年度より地域内外にて販売予定。

③ ソフト事業での地域資源活用

生かされていない地域資源を活用した事業の開発支援を実施した。

【奥琵琶湖カヌー体験事業】

- ・ 事業者：乾文久氏（西浅井町大浦）
- ・ 内 容：乾氏が取り組むカヌー体験事業のブラッシュアップ、及びふるさと納税サイト『さといこ』への登録を支援するとともに、本事業にて開設した長浜市の地域資源紹介サイト「ナンダカナガハマホコラシイ」へ登録した。

(3) 実施者（プレーヤー）の掘り起こしおよび育成

ヒアリング調査結果から今後の重点支援対象23者（社）をピックアップ。

新型コロナ感染拡大防止に配慮をしつつ、2021年度の支援開始予定している。

① 資源や人材のデータベースの作成

クラウド（GoogleDrive）上に調査データに関するフォーム・データベースを常時入出力可能な形式で構築した。

② その他資源活用や販売支援に必要なこと

新たな農業関連従事者（プレイヤー）確保の可能性探索として。女性層を対象に「畑活家族応援ワークショップ」を開催した。

- ・ 実施日 ： 2020年10月31日（土）10時～13時
- ・ 実施場所： デルフリキャンプ
（長浜市小谷上山田町）
- ・ 参加者 ： 16人



3. 地域商社機能の基盤強化

- (1) 商品企画・商品開発・テストマーケティング・ブラッシュアップ・販路開拓等、各段階での支援体制づくり

長浜市における農林水産事業者の所得向上を目的とした地域商社機能のあり方について調査・検討協議を実施した。

- (2) 市内事業者や6次産業化拠点連携協定事業者と連携した新しい商品サービスの企画開発等

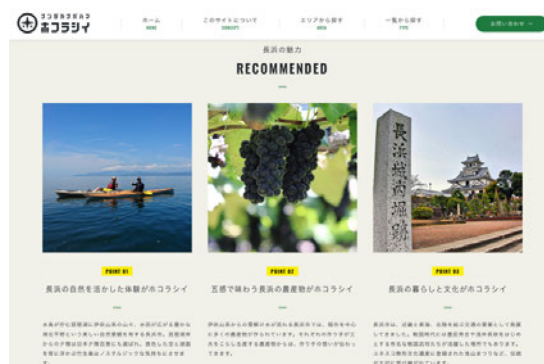
報告書「長浜市における地域商社機能設置に関する調査報告書」にて提案をした地域商社機能の2021年度実施検証で連携実施予定。

- (3) 地域内外への情報発信等

長浜市の地域資源紹介サイト「ナンダカナガハマホコラシイ」を設置した。

2～3ヶ月おきに継続的に紹介記事をアップするとともに、体験特化型ふるさと納税サイト「さといこ」、他のマスメディア等との関連性が強い地域サイト（ナンダカナガハマアタラシイ）との連携によりメディア誘導を実施。次年度効果検証予定している。

・開設サイト： ナンダカナガハマホコラシイ（URL. <https://nn-proud.com/>）



その他事業報告

1. 新産業創出地域連携事業（研究開発支援・販路開拓支援）業務

(1) 目的

長浜市の産業振興ビジョンに掲げるグローバル産業都市をめざし、長浜市における新規創業や地域企業の新事業展開を促進するため、バイオ関連事業をはじめ、コミュニティビジネスや地域資源を活用した事業化の取組等幅広い分野にわたる支援や、販路拡大等を支援するとともに、産官学連携によるバイオ産業の育成と地域経済の活性化及び雇用の創出を図ることを目的とする。

(2) 事業内容

① 研究開発支援事業

長浜アカデミックサポートチーム（NAST）を活用した産学等連携強化事業

【NAST 運営会議の開催（ZOOM 開催）】

・ 日 時： 2021 年 3 月 19 日（金）14：00～15：30

・ 出席者：



・ 内 容： NAST 部会活動報告

地域企業との共同研究について



ZOOM 会議の様子

【NAST 部会の活動】

2017 年 3 月に開通した小谷城スマートインターチェンジ（SIC）において、長浜市が進める小谷城 SIC 周辺 6 次産業化拠点構想について検討をすすめる中で、伝統野菜の推進について NAST に協力依頼があった。そこで湖北地域における伝承野菜を発掘しブランド化することにより地域の産業振興、特産品作り、6 次産業化を目指すことを目的とし、NAST 部会を 2017 年に設置し、湖北地域の伝承野菜の中から「尾上菜」と「伊吹大根」のブランディング化を進めてきた。

2020 年度も尾上菜を中心にブランディング事業を継続して実施し、長浜バイオ大学での研究にあわせて、長浜市と協働し、関係者との連携促進や試験圃場の整備、普及 PR などの側面支援を実施した。

② 販路開拓支援事業

2019 年度まではびわ湖環境ビジネスメッセへ出展し、長浜バイオインキュベーションセンター（NBIC）の入居企業等に対してビジネスマッチングの機会創出のための事業を実施してきた。

2020 年度はびわ湖環境ビジネスメッセの休止に伴い、他の展示会へ出展することによるビジネスマッチングの機会創出を検討したが、新型コロナウイルスの影響により、展示会の中止が相次いだ。そのため展示会の出展は行わず、各企業が行う販路開拓への取り組みを助成する「販路開拓支援助成金」を交付することにより、販路開拓の支援を行った。

- ・助成額 ： 1/3 助成（上限 7 万円）
- ・採択件数 ： 5 社
- ・助成額合計： 312,000 円

2. 滋賀バイオプロジェクト創出サロン事業

(1) 目的

滋賀バイオ産業推進機構（SBO）および ABBC が協働し、研究開発、産業化に向けた情報交換の場を提供するとともに、プロジェクト構築に向けた取り組みを支援することで、バイオ関連産業の創出・育成を図ることを目的とする。

(2) 事業内容

① 運営会議の開催

2020 年度サロン事業の運営方針を決めるため、専門家らの有識者による運営会議を開催した。

日 時： 2020 年 8 月 3 日（月）16：15 ～ 17：30

会 場： 長浜バイオ大学 大会議室

出席者：



滋賀バイオ産業推進機構（SBO）

一般社団法人バイオビジネス創出研究会（ABBC）

内容まとめ：

2019 年度からより実質的に共同研究や開発が生まれるような土壌づくりとして相談会形式でサロンを運営し、実際に共同研究につながるなど相談者と研究者の双方がメリットのある事業となってきたため、2020 年度も引き続き相談会形式でサロンを運営していくことが決定した。実施にあたっては、新型コロナウイルスの影響を考慮しながら、ZOOM の活用など開催方法の検討をしていくことになった。

② 滋賀バイオプロジェクト創出サロンの実施

2020 年度 第 1 回滋賀バイオプロジェクト創出サロン 相談会

開催日時：2020 年 8 月 26 日（水）10：30 ～ 11：30

会 場 ：長浜バイオ大学

企 業 ：株式会社明豊建設

内 容 ：琵琶湖の水草の発酵液の抗菌作用について

2020 年度 第 2 回滋賀バイオプロジェクト創出サロン 相談会

開催日時：2020 年 10 月 21 日（木）14：00 ～

会 場 ：長浜バイオ大学 セミナー室⑧

企 業 ：元祖坂本屋

内 容 ：鮎寿司の飯の活用について



③ ニーズマッチング説明会の運営支援

滋賀県と滋賀バイオ産業推進機構が主催する「大阪ガス ニーズマッチング説明会」の運営支援を実施した。

大阪ガスが求める技術ニーズを説明し、滋賀県内の企業とのマッチングを目的とした説明会で、当初は対面での実施を予定していた。しかし、新型コロナウイルスの影響により、YouTube によるオンデマンド配信形式に変更して実施した。

配信後に 9 社からエントリーがあり、そのうち 6 社が大阪ガスとの個別面談に進んだ。

・開催日時： 2021 年 1 月 27 日（水）

・参加企業： 36 社



④ バイオ・プロジェクト形成支援事業助成金

滋賀バイオプロジェクト創出サロン事業等を契機としてスタートした企業と研究者との共同研究や企業の新規事業実施に向けた施行的な取組み等に対する助成金「バイオ・プロジェクト形成支援事業助成金」の採択を受けたプロジェクトの進捗管理やサポートを実施した。

2019 年度から 2020 年度採択プロジェクト

- ・ 発酵食品製造副産物を用いた安価で脂の乗りの良いビワマスの作成を目指した飼料開発
(2019 年 11 月～2020 年 4 月 長浜バイオ大学アニマルバイオサイエンス学科)
- ・ ヨモギの葉裏の毛状突起（トライコーム）の過剰形成遺伝子の解析
(2020 年 1 月～4 月 株式会社山正)
- ・ 琵琶湖水草堆肥「湖の恵」関連製品に関する共同研究体構築に向けた取組
(2020 年 10 月～2021 年 3 月 株式会社明豊建設)

2020年度 事業一覧表

1. 主催・共催・後援事業

2020 年 5 月 29 日 (決議があったと みなされた日)	ABBC 第 15 期定時総会 (書面審議)	・2019 年事業報告 ・2019 年決算報告 ・役員の選任について ・2020 年度事業計画、予算 ・NBIC 指定管理申し込み	書面審議
2020 年 6 月 25 日	小谷城スマート IC 周辺拠点整備準備委員会	・準備委員会事業スケジュールについて ・企業進出にかかる事業進捗状況について	小谷丁野自治会館
2020 年 7 月 19 日	ながはまスマート園芸チャレンジ事業「メロン収穫体験」	・実習生によるメロン栽培、収穫作業の説明 ・収穫体験	小谷場 SIC 栽培実験農場
2020 年 7 月 22 日	NBIC 入居者懇談会 「AED 講習会」		NBIC
2020 年 7 月 28 日	NBIC 入居者懇談会 「AED 講習会」		NBIC
2020 年 7 月 29 日	小谷城スマート IC 栽培実験農場 関係者会議	・令和 2 年度の取組みについて ・意見交換	長浜バイオ大学 大会議室
2020 年 8 月 3 日	滋賀バイオプロジェクト創出サロン 運営委員会	・サロン事業について ・2020 年度サロン事業開催概要について ・その他	長浜バイオ大学 大会議室
2020 年 8 月 26 日	2020 年度 滋賀バイオプロジェクト創出サロン	第 1 回相談会	長浜バイオ大学
2020 年 9 月 2 日～ 11 月 18 日	実践ながはま・こほく創業塾 第 11 期	2020 年 9 月 2 日～11 月 18 日 全 12 回 開催	長浜ビジネスサ ポートセンター

2020 年 10 月 21 日	2020 年度 滋賀バイオプロジェクト創出サロン	第 2 回相談会	長浜バイオ大学
SBO 滋賀バイオプロジェクト創出サロン			
2020 年 10 月 30 日	スマート農業実演会	・急斜面で活躍するラジコン草刈機の紹介	全長寺付近圃場
長浜市委託事業 「6 次産業化支援事業」			
2020 年 10 月 31 日	地域の農・食・暮らしをつなぐ 畑活家族応援ワークショップ	・農業体験 ・講演と意見交換 講師：[REDACTED]	デリフリキャンプ
長浜市委託事業 「地域商社事業」			
2020 年 11 月 3 日	ミニトマト・キャベツ収穫体験会	・実習生による栽培、収穫作業の説明 ・収穫体験	小谷場 SIC 栽培 実験農場
長浜市委託事業 「6 次産業化支援事業」			
2020 年 11 月 17 日	小谷城 SIC 周辺拠点整備準備委員会	・京都グレインシステム視察研修	京都グレインシステム
長浜市委託事業 「6 次産業化支援事業」			
2021 年 3 月 19 日	長浜アカデミックサポートチーム		ZOOM 会議
長浜市委託事業			
2021 年 3 月 23 日	小谷城スマート IC 栽培実験農場 関係者会議	・2020 年度事業実績 ・2021 年事業計画 ・意見交換	長浜市役所
長浜市委託事業 「6 次産業化支援事業」			

2. その他

	300 年経営塾	2020 年 8 月 4 日 2020 年 10 月 7 日 2020 年 12 月 9 日 2021 年 3 月 17 日	北ピワコホテル グラツィエ
300 年経営塾			
	デジタルイノベーション研究会	2020 年 10 月 8 日	長浜バイオ大学
デジタルイノベーション研究会			

		2020 年 8 月 5 日 2020 年 9 月 2 日 2020 年 10 月 7 日 2020 年 11 月 6 日 2020 年 12 月 1 日 2021 年 2 月 4 日 2021 年 2 月 17 日 2021 年 3 月 2 日 2021 年 3 月 23 日	
滋賀 I M ネットワーク	滋賀 I M ネットワーク会議 滋賀創業サポートネットワーク		ZOOM 会議
	長浜サイエンスパーク運営協議会 ・長浜バイオ大学 ・星野科学(株) ・イオンディライトアカデミー(株) ・マルホ(株) ・山岡ヤマゼン(株) ・サイアヤファーマ(株) ・マリンフード(株) ・長浜バイオインキュベーションセンター	2020 年 7 月 2 日 2020 年 10 月 20 日 (除草作業) 2020 年 12 月 15 日	ZOOM 会議 長浜バイオ大学
長浜サイエンスパーク運営協議会			



一般社団法人バイオビジネス創出研究会
〒526-0829 滋賀県長浜市田村町1281-8
(長浜バイオインキュベーションセンター内)
電話 0749-65-8808 FAX 0749-65-8858
URL : <http://biobiz.jp/>
E-mail : info@biobiz.jp

第 1 4 期 貸 借 対 照 表

一般社団法人バイオビジネス創出研究会（合算）

平成 3 1 年 3 月 3 1 日現在

（単位：円）

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
現 金	442,472	未 払 金	2,867,707
預 金	14,289,629	未 払 消 費 税	1,269,900
前 払 費 用	26,095	前 受 金	237,600
未 収 入 金	1,013,590	預 り 金	144,612
		未 払 法 人 税 等	71,300
流動資産合計	15,771,786	流動負債合計	4,591,119
建 物 付 属 設 備	1,192,500	純資産の部	
構 築 物	1	繰 越 利 益 剰 余 金	12,478,801
什 器 備 品	1	（うち当期純利益）	988,527
出 資 金	50,000		
長期繰延税金資産	55,632		
固定資産合計	1,298,134	純資産合計	12,478,801
資産合計	17,069,920	負債・純資産合計	17,069,920

第 1 4 期 損益計算書

一般社団法人バイオビジネス創出研究会（合算）

自 平成 3 0 年 4 月 1 日

至 平成 3 1 年 3 月 3 1 日

（単位：円）

科目	金額	
1 売上高（事業収入）		
年会費	2,046,301	
交流会費収入	664,813	
入居料	25,875,024	
利用料金	343,158	
委託料	40,758,296	
補助金	5,530,124	
その他収入	1,232,540	76,450,256
2 事業費	65,217,261	65,217,261
差引事業利益		11,232,995
3 管理費	10,158,480	10,158,480
営業利益		1,074,515
4 営業外収益		
受取利息	119	
受取配当金	2,000	
雑収入	287,243	289,362
経常利益		1,363,877
5 特別損失		
固定資産除却損	6	6
税引前当期純利益		1,363,871
法人税等		288,400
法人税等調整額		86,944
当期純利益		988,527

貸借対照表及び損益計算書の附属明細書

1. 重要な固定資産の明細

(単位：円)

有形固定資産及び 無形固定資産 の明細区分	資産の 種類	期首 帳簿価額	当期 増加額	当期 減少額	当期 償却額	期末 帳簿価額	減価償却 累計額
有形固定資産	建物付属設備	1,327,500			135,000	1,192,500	157,500
	構築物	2		1		1	314,999
	器具及び備品	10		5	4	1	314,999
	計	1,327,512	0	6	135,004	1,192,502	787,498

2. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生原因の内訳

	平成30年3月31日 現在	平成31年3月31日 現在
繰延税金資産	142,576	55,632
減価償却費の限度超過額	118,113	55,632
広告宣伝費の損金不算入額	24,463	0

監事監査報告書

私、監事は、一般社団法人バイオビジネス創出研究会の平成30年4月1日から平成31年3月31日までの第14期事業年度の業務及び財産状況について監査を行ないました。

私は監査にあたり、理事からの業務の報告を聴取し、重要な決裁書類を閲覧するなど必要と思われる監査手続を実施しました。

監査の結果、一般社団法人バイオビジネス創出研究会の業務及び財産の状況は適切であり、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な行為はないものと確認しました。

2019年 5月 26日

一般社団法人
バイオビジネス創出研究会

監事

横田 幸造



監事監査報告書

私、監事は、一般社団法人バイオビジネス創出研究会の平成30年4月1日から平成31年3月31日までの第14期事業年度の業務及び財産状況について監査を行ないました。

私は監査にあたり、理事からの業務の報告を聴取し、重要な決裁書類を閲覧するなど必要と思われる監査手続を実施しました。

監査の結果、一般社団法人バイオビジネス創出研究会の業務及び財産の状況は適切であり、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な行為はないものと確認しました。

2019年 5月 16 日

一般社団法人
バイオビジネス創出研究会

監事 小川 健介



第 1 5 期 貸 借 対 照 表

一般社団法人バイオビジネス創出研究会(合算)

2020年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
現 金	310,762	未 払 金	2,921,617
預 金	15,338,039	未 払 消 費 税	1,896,600
前 払 費 用	18,578	前 受 金	264,000
立 替 金	227,575	預 り 金	231,714
未 収 入 金	1,712,618	未 払 法 人 税 等	253,300
流動資産合計	17,607,572	流動負債合計	5,567,231
建 物 付 属 設 備	1,057,500	純資産の部	
構 築 物	1	繰 越 利 益 剰 余 金	13,198,905
什 器 備 品	1	(うち当期純利益)	720,104
出 資 金	50,000		
長期繰延税金資産	51,062		
固定資産合計	1,158,564	純資産合計	13,198,905
資産合計	18,766,136	負債・純資産合計	18,766,136

第15期 損益計算書

一般社団法人バイオビジネス創出研究会(合算)

自 2019年 4月 1日

至 2020年 3月31日

(単位:円)

科目	金額	
1 売上高(事業収入)		
年会費	1,749,836	
交流会費収入	544,208	
入居料	24,121,971	
利用料金	462,945	
委託料	30,874,139	
補助金	4,241,979	
その他収入	1,351,938	63,347,016
2 事業費	52,668,661	52,668,661
差引事業利益		10,678,355
3 管理費	10,413,203	10,413,203
営業利益		265,152
4 営業外収益		
受取利息	297	
受取配当金	2,000	
雑収入	710,525	712,822
経常利益		977,974
税引前当期純利益		977,974
法人税等		253,300
法人税等調整額		4,570
当期純利益		720,104

貸借対照表及び損益計算書の附属明細書

1. 重要な固定資産の明細

(単位:円)

有形固定資産及び 無形固定資産 の明細区分	資産の 種類	期首 帳簿価額	当期 増加額	当期 減少額	当期 償却額	期末 帳簿価額	減価償却 累計額
有形固定資産	建物付属設備	1,192,500			135,000	1,057,500	292,500
	構築物	1				1	314,999
	器具及び備品	1				1	314,999
	計	1,192,502	0	0	135,000	1,057,502	922,498

2. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生原因の内訳

	2019年3月31日 現在	2020年3月31日 現在
繰延税金資産	55,632	51,062
減価償却費の限度超過額	55,632	51,062

監事監査報告書

私、監事は、一般社団法人バイオビジネス創出研究会の2019年4月1日から2020年3月31日までの第15期事業年度の業務及び財産状況について監査を行いました。

私は監査にあたり、理事からの業務の報告を聴取し、重要な決裁書類を閲覧するなど必要と思われる監査手続を実施しました。

監査の結果、一般社団法人バイオビジネス創出研究会の業務及び財産の状況は適切であり、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な行為はないものと確認しました。

2020年5月18日

一般社団法人
バイオビジネス創出研究会

監事

森田 幸造



監事監査報告書

私、監事は、一般社団法人バイオビジネス創出研究会の2019年4月1日から2020年3月31日までの第15期事業年度の業務及び財産状況について監査を行いました。

私は監査にあたり、理事からの業務の報告を聴取し、重要な決裁書類を閲覧するなど必要と思われる監査手続を実施しました。

監査の結果、一般社団法人バイオビジネス創出研究会の業務及び財産の状況は適切であり、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な行為はないものと確認しました。

2020年5月18日

一般社団法人
バイオビジネス創出研究会

監事 小川 健介



第 1 6 期 貸 借 対 照 表

一般社団法人バイオビジネス創出研究会(合算)

2021年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
現 金	333,680	未 払 金	3,532,353
預 金	16,522,334	未 払 消 費 税	1,917,200
前 払 費 用	18,138	前 受 金	264,000
立 替 金	228,261	預 り 金	123,865
未 収 入 金	2,787,482	未 払 法 人 税 等	481,300
流動資産合計	19,889,895	流動負債合計	6,318,718
建 物 付 属 設 備	922,500	純資産の部	
構 築 物	1	繰 越 利 益 剰 余 金	14,590,043
什 器 備 品	1	(うち当期純利益)	1,391,138
出 資 金	50,000		
長期繰延税金資産	46,364		
固定資産合計	1,018,866	純資産合計	14,590,043
資産合計	20,908,761	負債・純資産合計	20,908,761

第16期 損益計算書

一般社団法人バイオビジネス創出研究会(合算)

自 2020年 4月 1日

至 2021年 3月31日

(単位:円)

科目	金額	
1 売上高(事業収入)		
年会費	1,718,182	
交流会費収入	4,630	
入居料	22,444,491	
利用料金	482,367	
委託料	33,314,846	
その他収入	3,074,553	61,039,069
2 事業費	48,395,466	48,395,466
差引事業利益		12,643,603
3 管理費	11,255,238	11,255,238
営業利益		1,388,365
4 営業外収益		
受取利息	255	
受取配当金	2,000	
雑収入	486,516	488,771
経常利益		1,877,136
税引前当期純利益		1,877,136
法人税等		481,300
法人税等調整額		4,698
当期純利益		1,391,138

一般社団法人バイオビジネス創出研究会(合算)

自 2020年 4月 1日
至 2021年 3月 31日

事業費

(単位:円)

広告宣伝費	1,429,227
セミナー費	711,333
給料手当	16,453,132
賞与	3,043,000
法定福利費	3,023,908
厚生費	1,044,095
賃借料	1,015,467
修繕費	184,517
消耗品費	2,466,352
水道光熱費	824,927
旅費交通費	187,563
手数料	100,380
租税公課	42,010
交際接待費	33,818
年会費	154,545
通信費	429,676
諸会費	12,727
負担金	340,000
新聞図書費	164,722
メンテナンス費	4,084,898
電力費	1,276,283
警備費	240,000
会議費	175,924
顧問料	157,000
業務委託費	5,650,843
印刷費	291,718
保険料	7,977
外注費	3,844,294
材料費	1,005,130

事業費 合計

48,395,466

管理費

給料手当	6,849,346
賞与	1,089,000
法定福利費	898,012
厚生費	415,195
減価償却費	579,600
賃借料	218,400
修繕費	49,000
消耗品費	854,829
手数料	46,617
租税公課	5,408
年会費	148,841
諸会費	24,074
負担金	21,000
会議費	42,662
雑費	13,254

管理費 合計

11,255,238

貸借対照表及び損益計算書の附属明細書

1. 重要な固定資産の明細

(単位：円)

有形固定資産及び 無形固定資産 の明細区分	資産の 種類	期首 帳簿価額	当期 増加額	当期 減少額	当期 償却額	期末 帳簿価額	減価償却 累計額
有形固定資産	建物付属設備	1,057,500			135,000	922,500	427,500
	構築物	1				1	314,999
	器具及び備品	1				1	314,999
	計	1,057,502	0	0	135,000	922,502	1,057,498

2. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生原因の内訳

	2020年3月31日 現在	2021年3月31日 現在
繰延税金資産	51,062	46,364
減価償却費の限度超過額	51,062	46,364

監事監査報告書

私、監事は、一般社団法人バイオビジネス創出研究会の2020年4月1日から2021年3月31日までの第16期事業年度の業務及び財産状況について監査を行いました。

私は監査にあたり、理事からの業務の報告を聴取し、重要な決裁書類を閲覧するなど必要と思われる監査手続を実施しました。

監査の結果、一般社団法人バイオビジネス創出研究会の業務及び財産の状況は適切であり、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な行為はないものと確認しました。

2021年5月14日

一般社団法人
バイオビジネス創出研究会

監事

田邊 功

監事監査報告書

私、監事は、一般社団法人バイオビジネス創出研究会の2020年4月1日から2021年3月31日までの第16期事業年度の業務及び財産状況について監査を行いました。

私は監査にあたり、理事からの業務の報告を聴取し、重要な決裁書類を閲覧するなど必要と思われる監査手続を実施しました。

監査の結果、一般社団法人バイオビジネス創出研究会の業務及び財産の状況は適切であり、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な行為はないものと確認しました。

2021年5月14日

一般社団法人
バイオビジネス創出研究会

監事 小川 健介

